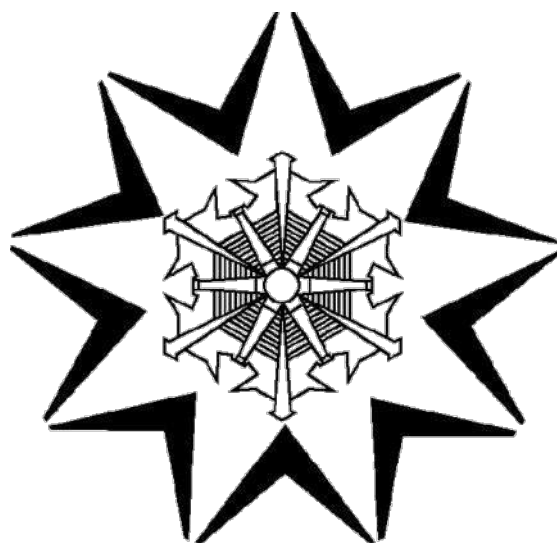


消 防 年 報

令和6年版
(令和7年発行)



呉市消防局

○ 呉 市 民 憲 章

わたくしたちは、美しい自然と誇り高い伝統をうけつぎ、郷土の発展と明るくより豊かな生活をきずくため、この憲章を定めます。

- 1 自然を愛し、清潔なまちにしましょう。
- 1 希望にみち、安らぎのあるまちにしましょう。
- 1 元気で、活気あふれるまちにしましょう。
- 1 豊かで、文化の高いまちにしましょう。
- 1 安全で、平和なまちにしましょう。

○ 呉市民の花，呉市民の木

呉市民の花 つばき 呉市民の木 かし



令和7年3月31日現在

区 分		面 積 (km ²)	世帯数 (世帯)	人 口 (人)	1平方キロメートル当たり	
分 類					世帯数	人口
合 計		352.04	104,282	199,481	296	567
西消防署管内	小 計	141.26	60,267	112,383	427	796
	中 央	20.07	25,647	45,237	1,278	2,254
	天 応	3.95	1,749	3,578	443	906
	吉 浦	8.12	4,653	8,958	573	1,103
	宮 原	3.95	3,584	6,253	907	1,583
	警 固 屋	4.20	2,128	3,674	507	875
	昭 和	27.76	14,456	30,375	521	1,094
	音 戸	18.75	5,453	9,982	291	532
	倉 橋	54.46	2,597	4,326	48	79
東消防署管内	小 計	212.60	44,015	87,098	207	410
	広	32.73	20,488	42,372	626	1,295
	阿 賀	14.57	7,109	13,469	488	924
	仁 方	10.51	2,874	5,624	273	535
	郷 原	20.94	1,964	4,203	94	201
	下 蒲 刈	8.72	666	1,106	76	127
	川 尻	16.85	3,755	7,316	223	434
	蒲 刈	18.98	828	1,330	44	70
	安 浦	63.54	4,737	9,291	75	146
	豊 浜	11.68	731	1,032	63	88
	豊	14.08	863	1,355	61	96

○面積の合計（352.04km²）は令和6年10月1日現在（前年に比べて総面積減少（前年比△0.79km²）の要因は、令和6年4月1日時点の国土地理院電子国土基本図の測定結果による。）
○平成26年より、「電子国土基本図」データを用いた高精度な計測方法に変更したため総面積が減少（対前年比△1.05km²）した。なお、各区分（地域）の面積は計測されておらず、減少した面積の詳細を示すのは困難であるため、各区分の面積は、平成25年10月1日現在のデータ（面積総数353.86km²）のままである。
○世帯数、人口は住民基本台帳による。

ま え が き

この年報は、呉市消防局管内における火災・救急等の実態及び消防業務の概要を収録し、今後の消防行政の合理的な運営の資料とし、併せて住民の皆様には消防行政についての理解と認識を深めていただき、防火・防災意識の高揚を図るために作成しました。

なお、統計資料は原則暦年で表し、予算関係は年度でまとめました。

令和 7 年 1 0 月

呉 市 消 防 局



呉市消防局シンボルマーク

呉市の花であるつばきをデザイン化し、中央に入れ、「人々の生命と財産を守る」という意味の英文「WE GUARD LIFE&PROPERTY」を外側に巻いて職員の使命と心意気を示し、その周りを呉市のマーク（9つのレの字）と、9つの峯（山）で囲み、市民に親しまれ、信頼される消防局をアピールしています。



呉市消防局マスコットキャラクター
「フォーエール」くん

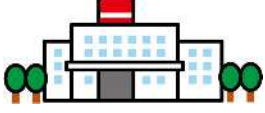
愛称は、くじらの「ホエール」と呉消防の4つ(four)のエール「愛・絆・情熱・希望」を組み合わせています。

海洋都市「呉」の海、海の王者「くじら」、消防車の赤色、また、背中から延びたホースで様々な災いの炎を消火する姿をイメージしています。

平成20年3月、自治体消防制度60周年を記念して公募し、80点の応募作品の中から決定しました。

呉市消防局一目統計

令和7年4月1日現在

面 積	人口・世帯数	署 所 数	消防吏員数
 352.04km²	 人口 199,481 人 世帯数 104,282 世帯	 消防局 1 消防署 2 分 署 2 出張所 10	 355人
消 防 予 算	ポンプ車等	はしご車・特殊車等	救急車等
 4,767,925 千円 (令和7年度)	 ポンプ車 21台 タンク車 2台 小型動力ポンプ付積載車 6台	 はしご車 2台 化学車 2台 救助工作車 2台	 救急車 17台 救急艇 1隻
火災件数	救急件数	救助件数	119番通報件数
 67件	 12,114件	 58件	 16,679件
防火対象物	危険物施設	消防団員数	
 6,158施設	 491施設	 1,607人	

※火災・救急・救助・119通報件数は、令和6年1月1日から令和6年12月31日までの件数

吳消防愛唱歌

作詞 石 本 美由起
作曲 市 川 昭 介
編曲 馬 場 良

[illegible]

一
四季が 綾なす 夢を追ひ
集う 吾らに 絆あり
呉を愛して 呉に生き
ひとりひとりが 消防の
使命に生きる よろこびを
いざ 潮風に 唄おうよ

二
海と 街とを 見下して
景色 和やか 灰ヶ峰
呉を愛して 呉に住み
共に 勇気を 分けあつて
たじろぐことの ない力
いざ いつの日も 試そうよ

三
元氣 いっぱい 火も水も
守る 努力に 憂いなし
呉を愛して 呉の明日
共に信じて 取る舵は
誇りに生きる 道しるべ
いざ もろ共に 進もうよ

四
古い歴史に 新しい
明日を 創ろう 彩どろろ
呉を愛して 呉の為め
常に 安全 都市として
平和の花を 美しく
いざ 限りなく 咲かそうよ

目 次

総 括

消防のしごと	1
消防のあゆみ	2
消防機関の配置	11
消防組織と事務分掌	12

総 務

消防職員	13
・階級別年齢構成	
・勤務年数別職員構成	
・消防職員の配置状況	14
消防職員の研修体系	15
・呉市消防局の目指すべき職員像	
・令和6年度職員研修結果	16
消防予算	17
・過去5年間の予算概要	
施設整備	18
協定等の締結状況	20

予 防

予防査察	21
・消防用設備等を必要とする 対象物の現況	
・防火管理者を必要とする 対象物の現況	22
・消防用設備等を必要とする 対象物の査察実施状況	23
建築物の防火指導	24
・建築同意の状況	
・消防用設備等の届出状況	
・違反処理状況	
・届出対象物の現況	25
・届出対象物の査察実施状況	

・各種届出書等の受理状況	26
・防火対象物定期点検報告と 特例認定状況	27
・防災管理者の選任届・ 自衛消防組織届出現況	
・中高層建築物の現況	
・住宅用火災警報器の設置率	
火薬類の規制	28
・火薬類関係事業所数	
・火薬類関係貯蔵箇所数	
・火薬類許可件数	29
・火薬庫保安検査実施棟数	30
・火薬類立入検査実施件数	
・火薬類届出状況	
危険物の規制	31
・危険物施設現況	
・危険物施設査察実施状況	
・危険物関係事務処理状況	32
高圧ガスの保安	33
・高圧ガス事業所の現況	
・高圧ガス保安法事務処理状況	
消防クラブ	34
防災センター	35
・施設の内容	36

警 防

火 災	37
・火災概況	
出火原因	38
・過去10年間の火災の主な出火原因	
・出火原因別の月別火災件数	39
・出火原因別の火災状況	40
・用途別・原因別火災概況	41

・過去 10 年間の火災の推移	42	・その他の災害出動状況	64
・主な火災	43	消防水利	65
・月別火災発生件数及び		消防機械	66
損害額	44・45	・主な消防車両等	
・建物火災	46	・主な機械器具	
・過去 10 年間の出火率の変化		消防通信	67
・建物火災損害額の推移	47	・呉市消防局管内の	
・建物火災の主な原因別火災状況		消防無線施設配置図	
・火災種別件数	48	・災害等受信総件数	
・火災による死傷者	49	・119 番受信状況	68
・署所別火災発生状況	50	・登録制通報装置受信状況	69
・林野火災発生状況	51	・映像通報システム利用状況	
救 急	52	・多言語電話通訳サービス利用状況	
・救急活動状況と前年比較		・過去 5 年間の出動指令状況	
・救急隊別出動状況	53	・通信指令施設の現況	70
・月別救急出動状況	54		
・曜日別救急出動状況	55	消 防 団	
・事故種別・医療機関別搬送状況	56	・消防団の組織と人員等	71
・管内管外別搬送人員状況	57	・消防団員の年齢構成	72
・発生場所別状況		・消防団員の勤続年数	
・現場到着所要時間状況	58	・消防団担当区域	73
・収容所要時間状況			
・年齢別搬送状況			
・救急隊員による応急処置			
実施状況	59		
・傷病程度別搬送状況			
・過去 5 年間の救急活動状況	60		
・普及啓発活動実施結果			
・普及啓発活動実施状況			
救急隊支援	61		
・救急隊支援出動状況			
・救急出動・支援出動件数の推移			
救 助	62		
・過去 5 年間の救助出動件数			
及び活動状況			
・救助出動状況	63		

総括

消 防 の し ご と
消 防 の あ ゆ み
消 防 機 関 の 配 置
消 防 組 織 と 事 務 分 掌

消防のしごと

消防は、市民の生命・身体・財産を災害から守るため、その施設と人員を活用して水火災や地震等の災害を防除し、これらの災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行うことを任務としています。

本市の消防は、消防局（消防総務課、警防課、予防課）、2消防署（西・東消防署）、2分署（昭和・音戸分署）、10出張所の常備消防と1本部34分団の非常備消防（消防団）で構成しています。消防署、分署及び出張所には、ポンプ車や化学車、救助工作車、高規格救急車など多種多様な車両を配備し、火災・救助・救急などに対処しています。加えて、NBC災害やテロリズムなどの新たな脅威にも対処するため、多様な装備を配備するとともに、徹底した技術錬成により訓練された消防隊員をもって即時対応の体制をとっています。また、東消防署には防災センターを併設し、市民に対し防災に関する知識及び技術の普及並びに防災意識の高揚を図っています。

一方、平成30年7月、本市は豪雨により大きな被害を受けました。消防は豪雨災害発生以降、地域コミュニティにおける自助機能のさらなる強化を図るため、自治会などの関係機関と連携して避難訓練等を行っています。

特に、令和4年1月には、複雑多様化する災害への対応能力と地域防災力の強化を目的として整備した、大規模災害対応訓練施設が完成し、地域住民を対象とした防災講習会などを開催し、災害に対する知識と技術を深め、災害に強いまちづくりを推進していきます。

また、防火対策として、火災予防運動や住宅用火災警報器の設置指導などの組織的な防火活動を展開し、地域住民に広く火災予防思想の普及を図っているほか、店舗や宿泊施設を始めとする防火対象物での立入検査や危険物施設に対する保安指導などを通じ、火災予防及び火災につながる危険物事故防止の徹底を図っています。併せて、火災が発生したときには、消火活動の開始と同時に火災原因及び損害の調査を行い、その結果を資料化するとともに、事例研究を重ねることにより、火災予防対策や警防対策の強化も図っていきます。

呉市消防局は、消防団や地域住民と協働して「地域防災力及び減災力」を強化することにより、市民一人ひとりが安全と安心を実感できるまちづくりの実現に取り組みます。

消防のあゆみ

明治	21.	1	阿賀大入で160棟を焼く大火 死者3名を出す	8.	海軍工廠に救急車を配備
	22.	7	鎮守府開庁	9.	4 呉市消防組にラッパ手を配置
	25.	3	宮原村字神原で全焼39棟、半 焼6棟の火災	10.	2 堺川通2丁目青物市場の火災 で20棟全焼
	27.	2	勅令消防組規則公布	10.	4 呉市消防協会が設立される
	28.	12	灰ヶ峰の山火事で3町歩焼失	10.	7 消防手訓練で殉職
	29.	4	造船部職工溜から出火4棟及 び端舟17艘を焼く	12.	林野火入及び火気取締規定
	34.	4	四ヶ町村（和庄・宮原・莊山 田・吉浦）の消防組の連合勢 揃いを二河川川原で行う	12.	2 呉市消防組に常備部（夜間）を 置く 二河川川原で消火器の消火実 験が行われる
	35.	10	呉市制施行	12.	10 呉市消防組、金馬簾1条認可
	36.	7	大豪雨による全壊17戸、半壊 300戸、浸水家屋2,386戸	13.	呉市消防組の常備消防が昼夜 常駐となる
	36.	9	呉市消防組創立式を行う （4部で130名）	14.	1 川尻町に公設消防組設置
	37.	8	和庄本通2丁目の呉興産勸商 場の火災で全焼59棟、半焼10 棟、819坪焼失	15.	1 阿賀延崎で全焼13棟、半焼 5棟の火災
	38.	6	大地震により鎮守府庁舎階上 監獄等崩壊、家屋破損など相 当の被害あり （死者6名、重傷者29名）	15.	呉市消防組にサイドカー1台 購入 海軍工廠に消防艇を配備 蔵本通に常備消防庁舎建築
	39.	5	警固屋町制施行	昭和	3. 4 呉市消防組常備消防部33名に 吉浦町、警固屋町、阿賀町が 呉市に合併
	40.	1	仁方町制施行	4.	6 呉市消防組新庁舎と望楼 （32m）竣工
	41.	3	和庄本通4、5丁目勸商場より 出火 全焼90棟、半焼11棟、損害額 30万円に及ぶ	5.	12 フォード貨物自動車を購入し はしご自動車に改造 （12m級） 広村消防組に金馬簾1条認可 防護団発足
	41.	3	呉湯屋火災共済会結成	6.	1 阿賀町消防組に金馬簾1条認 可
	42.	2	灰ヶ峰で山火事45町歩焼失 阿賀延崎で76棟、760坪焼失 の大火	6.	11 呉市消防組に金馬簾2条認可
	43.	4	呉市消防組5部制に（160名）	7.	3 海岸通3丁目の火災で全焼 11棟 仁方町消防組に金馬簾1条認 可
	45.	5	三条通の火災で10棟全焼、 4棟半焼、破壊1棟	8.	2 非常水火災警防規程制定
	45.	9	東堺川通1丁目で全焼8棟の火 災	8.	9 神田町の火災で全焼20棟、半 焼5棟
	45.	12	元町で13棟全焼の火災	9.	9 松本町の火災で全焼6棟、 半焼2棟、死者11名
大正	4.	2	吉浦町制施行	11.	2 中通日の丸百貨店火災で17棟
	7.	1	中通春日座の火災で10棟全焼		
	7.	4	呉市水道給水開始 （本庄水源地竣工）		

	が全焼		プ車20台，広消防署の定員94名，宮原，岩方，栄町，原，横路，三坂地出張所廃止
11. 9	呉市消防組に金馬簾3条認可		
11. 12	吉浦消防組に金馬簾2条認可		
	阿賀消防組に金馬簾2条認可	21. 12	海軍防火隊46名，ポンプ車2台，消防艇1隻，呉消防署へ移管
12. 1	中通楽天地の火災 全焼11棟半焼6棟		
12. 4	阿賀消防組に常備部を置く	22. 8	呉防火協会設立
	吉浦消防組に三輪ポンプを配備，常備部分遣所を設置し，4名を配置	23. 3	消防組織法施行され自治体消防発足，呉市消防本部設置
12. 5	吉浦中町の火災で全焼7棟	23. 7	消防法制定公布
	警固屋消防組に常備部分遣所設置	23. 10	呉市危険物取締条例施行規則公布
12. 10	宮原第2中学校火災で校舎外11棟全焼，5棟半焼	24. 3	消防吏員増員され272名となる
13.	警固屋町に婦人消防隊（120名）少年消防隊（60名）組織	24. 6	デラ台風 死者4人，全半壊家屋16戸
13. 1	広交差点で10棟焼く火災	24. 9	呉市消防章制定，階級章改正
14. 4	呉市警防団発足総数2,337名	25. 6	呉市消防共済会を組織
16. 4	軍の要請に基づき仁方町，広村を合併		呉消防署を呉市西消防署に，広消防署を呉市東消防署に改称する
17. 1	広町に常備部広分遣所開設しポンプ自動車1台，人員6名を配置		火災出動中，消防士殉職
18. 1	呉及び広に特設消防署設置	25. 9	キジア台風 死者1名，家屋浸水等1,173戸
	呉・ポンプ自動車8台，3出張所（定員152名，実員36名）	26. 8	呉市水防規程施行
	広・ポンプ自動車5台，1出張所（定員82名，実員12名）	26. 10	ルース台風 死者2名，家屋浸水等823戸
19. 4	警防団の非常応援規程定められる		呉市火災予防条例公布施行
19. 5	重要防空都市に指定される	27. 6	呉市消防本部で救急業務開始
	仁方出張所開設	27. 11	消防艇が無償で呉市に払い下げられる
19. 6	学徒を動員し消防署に配置	28. 3	海岸3丁目で全焼19棟，24世帯焼け出される
	呉消防署に93名，広消防署に50名	28. 6	阿賀出張所移転新築
19. 10	海岸，岩方，本通，宮原13丁目出張所を開設	29. 9	洞爺丸台風 家屋浸水等1,507戸
19. 12	長浜出張所を開設	29. 10	呉市防災協会発足
20. 3	少年消防官採用	29. 11	消防一斉指令機を設置
	19日呉空襲始まる	30. 2	中短波無線機装備
20. 9	枕崎台風	30. 3	三坂地小学校少年消防クラブが消防庁長官から表彰される
	死者1,154人，負傷者440人，家屋流出1,162戸，半壊家屋792戸	30. 6	海岸，本通出張所を廃止
20. 10	連合軍呉市へ進駐		条例定員215名に改定
21. 3	呉消防署の定員160名，ポン	30. 9	台風22号豊栄新開決壊，流水浸水家屋1,753戸
			（災害救助法適用）
		30. 10	海岸，本通出張所再開，港湾

- 出張所を廃止，通信員の専従制を採用
30. 12 舟園町（現在の宝町）の劇場火災で消防士殉職
31. 10 郷原村，天応町，昭和村が呉市と合併する
31. 12 GMC米軍消防車を改造した12m級のはしご車を配置
32. 4 消防職員30名減で実員190名
33. 3 呉市にはじめて火災報知機がつく（40基）
34. 1 署の機械係廃止本部に統合
34. 10 消防本部に企画広報係新設
35. 4 東消防署庁舎落成
35. 7 集中豪雨 死者3人，全壊浸水等353戸
36. 2 東畑町母子寮の火災で全焼5棟，23世帯焼け出される
36. 3 両城中学校の火災で5棟全焼
36. 5 仁方出張所新築
36. 8 消防本部に予防課を新設3課となる
警防課に通信係を，予防課に指導係を新設
37. 5 超短波無線機を装備
警固屋出張所新築
37. 6 呉市安全会議を結成
37. 12 消防艇廃船となる
38. 4 救急業務が法制化される
38. 5 川尻町消防団に常備部が置かれる
38. 10 呉市消防本部を呉市消防局と改称
38. 12 消防局，西消防署着工
39. 3 吉浦出張所新築
39. 12 消防局，西消防署庁舎が落成
40. 9 海上保安部と船舶の消防業務について業務協定を締結する
41. 3 川尻町で救急業務を開始
41. 5 第7次火災報知機設置で計224基となり設置を終わる
41. 10 18m級はしご車を購入
42. 5 消防一斉指令装置を更新
42. 7 集中豪雨により死者88名，負傷者467名，救出作業中の消防士長殉職，その他多数の職員が負傷（災害救助法適用）
43. 3 吉浦魚見山隧道に火災報知機発信機及び消火器等が備えられる
43. 8 宮原出張所新築
43. 10 消防局と呉海上保安部による業務協定 締結
44. 3 林野火災で消防士2名殉職
44. 10 第24回法制委員会当市で開催
45. 4 化学消防車購入，2台となる
45. 9 呉市と在日米陸軍による消防相互援助協約締結
46. 4 広町大張矢の林野火災で消防職員18名殉職（焼失面積340ha，損害額4,260万円）
46. 6 昭和出張所開設
46. 7 救急車のサイレンがピーポーサイレンに変わる
林野火災特別地域の指定を受ける
46. 9 林野火災工作車を購入
46. 11 赤バイ5台購入 32m級はしご付き自動車を購入，西消防署に配置
46. 12 昭和通2丁目 I H I 呉造船所の火災焼失面積3,078㎡，損害額103,128千円
47. 4 大張矢林野火災殉職者の慰霊碑建立除幕式を行う
47. 5 天応出張所開設
48. 3 消防研究所が大張矢林野火災跡地に無人気象観測機を設置
48. 7 陸上自衛隊第13師団に消防職員10名を派遣 レンジャー隊員の養成を始める
48. 8 隔日給水制限（20日～26日）
48. 10 予防査察員専従制となる
49. 1 阿賀町の林野火災で消防団員殉職
49. 6 川尻町の消防事務を受託し，川尻出張所を開設する
条例定員233名に改正
49. 7 火災報知機を全面的に廃止
49. 8 消防係を警防係に，通信係を第一通信係・第二通信係に改め川尻出張所に所長を置く
50. 7 東・西消防署の査察係に係長を置く

- 大張矢に設置した無人気象観測機を撤去
50. 9 安浦町消防団に常備部が置かれる
51. 11 火災出動中、消防士長1名殉職
51. 12 呉市にはじめて婦人消防団員誕生
(大入、冠崎、情島各8名)
52. 11 長浜出張所廃止
53. 3 自治体消防30周年記念行事を行う
西消防署に訓練塔を設置
(高さ9.2m)
53. 4 条例定員247名に改正
53. 7 海岸出張所廃止
53. 8 3日周期の給水制限
(8/17~9/5)
53. 11 消防救急指令装置を設置する
山陽ジャスコより指揮車兼広報車の寄贈
54. 2 テレホンガイド3回線設置
54. 4 副長を副署長に改正
西消防署に署長補佐(警防担当及び予防担当)を設ける
54. 8 昭和出張所に救急車を配置
54. 9 照明電源車を配置
赤バイ2台廃車
55. 2 損保からスノーケル車の寄贈
55. 3 長浜出張所新築
55. 4 条例定員253名に改正
東消防署に署長補佐(警防担当)を設ける
広島県救急医療情報システムによる呉地域救急医療情報センター運用開始
56. 3 救急波開局に伴い簡易多重無線設備設置
56. 4 消防局に危険物係を設ける
東消防署に署長補佐(予防担当)を設ける
56. 10 赤バイ3台廃車
56. 11 警固屋地区子供会連合会少年消防クラブ結成
56. 12 広町中新開幼年消防クラブ結成
広町長浜保育所消防クラブ結成
57. 3 本通出張所新築
57. 4 条例定員255名に改正
署長補佐制度を廃止
57. 5 塩焼婦人消防クラブ結成
57. 6 日立清水地区婦人防火クラブ結成
57. 7 呉市少年婦人防火委員会設置
57. 9 「救急の日」「救急医療週間」制定
呉東ロータリークラブから指揮広報車の寄贈
I H I でタンカー火災 死者6名、負傷者8名
57. 10 日本防火協会から防火広報車の寄贈
57. 12 救助工作車を配置
58. 3 中通大火第3出動
全焼5棟、半焼1棟、部分焼4棟
25店舗被災、焼失面積2,716㎡
阿賀出張所新築
58. 10 第52回法制委員会当市で開催
59. 2 呉市防災センター・東消防署建設基本計画作成
59. 3 東消防署に訓練塔(地下80トン水槽、地上5階建)建設
41m級はしご車を購入し、西署に配置 32m級はしご車を東消防署に配置
59. 4 昭和59年度中消会春季役員会総会及び意見発表会を当市で開催
59. 7 呉市防災センター・東消防署着工
60. 2 テレホンガイド6回線に増設
60. 3 警固屋地区子ども会連合会少年消防クラブが(財)日本防火協会会長から表彰される
18m級はしご車廃車
60. 4 安浦町の消防事務を受託し、安浦出張所を開設
条例定員273名に改正
60. 12 呉市防災センター・東消防署落成
61. 3 消防局、西消防署庁舎外壁改修工事
61. 12 広島ガス(株)から救急車の寄贈

62. 1	救助業務が法制化される				出張所落成
62. 8	仁方本町2丁目踏切事故 応援バスと電車衝突59名負傷		6. 3	消防局、西消防署庁舎4階を 通信指令室、講堂に改装	
62. 10	昭和市民センター・昭和出張 所移転落成 広島県内広域消防相互応援協 定締結		6. 4	警防課に救急救助係を設置 救急救命士誕生（2名）	
63. 3	自治体消防40周年記念行事を 行う デジタル電子交換機更新		6. 8	異常湧水により県内各地で林 野火災多発 県内相互応援協定に基づき竹 原市に警防隊派遣	
63. 7	昭和町日新製鋼（株）呉製鉄 所でガス爆発事故、死者4名 負傷者30名		6. 10	大新土木（株）から高規格救 急車（西消防署）の寄贈 呉市防災協会創立40周年	
63. 10	東消防署に人員輸送車（マイ クロバス）を配置		7. 1	阪神・淡路大震災に救助隊を 派遣	
63. 12	林野火災工作車を廃車 広島県同栄社農業協同組合連 合会から救急車の寄贈		7. 2	仁方保育所幼年消防クラブ結 成	
平成 1. 2	救助工作車を西消防署に配置 15m級はしご付消防自動車 を昭和出張所に配置		7. 3	消防緊急通信指令施設導入 消防局・西消防署庁舎用非常 用自家発電機施設完成	
1. 9	社団法人 日本損害保険協会 から水槽付消防ポンプ自動車 の寄贈		7. 6	緊急消防援助隊発足	
1. 11	呉グリーンライオンズクラブ から調査車及び査察車の寄贈		7. 11	西消防署のスノーケル車を廃 車し15m級はしご付消防自動 車を配置	
2. 3	呉中央信用金庫から救急車の 寄贈		8. 1	緊急援助隊広島県合同訓練を 広島市で実施	
2. 4	広島県内航空消防応援協定締 結		8. 7	塩焼婦人消防クラブが（財） 日本防火協会会長から表彰さ れる	
3. 2	音戸の瀬戸水中翼船衝突事故 負傷者54名 仁方しろはと幼稚園幼年消防 クラブ結成		8. 8	大新土木（株）から高規格救 急車（東消防署）の寄贈	
3. 3	東消防署に30m級、四輪操舵 のはしご付消防自動車を配置		8. 10	消防職員委員会発足	
3. 9	台風19号により、災害救助法 の適用を受ける 死者2名、負傷者6名、家屋全 壊64戸、一部破壊3,749戸、 浸水家屋1,725戸、道路損壊 38か所他		8. 12	消防団に携帯無線機を配備	
4. 11	焼山めいわ保育園幼年消防ク ラブ結成		9. 3	安浦町、安芸津町両町にまた がり林野火災発生 185ha焼損 （安浦町109ha、安芸津町76ha） 消防局庁舎耐震改修工事着工 大張矢の無線中継所新設 呉市中央公園に飲料水兼用耐 震性貯水槽100 t 設置 高度救助資機材導入に併い、 Ⅲ型救助工作車東署に配置	
5. 7	集中豪雨により両城2丁目で 崖崩れ 死者2名		9. 4	宮原出張所、警固屋出張所を 統合し、南出張所を開設 管内救急隊は6隊となる 条例定員320名に改正	
5. 10	仁方支所・仁方公民館・仁方		9. 8	照明電源車を廃車	
			9. 10	日立清水地区婦人防火クラブ	

- | | | | |
|--------|---|--------|--|
| | が(財)日本防火協会会長から表彰される | 14. 2 | 大新土木(株)から高度救命用資機材装備の2B型救急車(西消防署)寄贈 |
| | 大新土木(株)から高規格救急車(昭和出張所)の寄贈 | 14. 3 | 呉市消防局ホームページ開設 |
| 10. 2 | 名田保育園幼年消防クラブ結成 | 14. 4 | 吉浦出張所, 天応出張所を統合し, 狩留賀出張所を開設 |
| | 広公園に飲料水兼用耐震性貯水槽100 t 設置 | | 管内救急隊は9隊となる |
| 10. 3 | 呉市自治体消防50周年記念行事を行い, 式典で呉消防愛唱歌とシンボルマークを披露 | | 女性消防吏員誕生 |
| 10. 7 | 青蓮寺幼稚園幼年消防クラブ結成 | | 通信指令室を設け, 室長を置く。予防課調査係を警防課へ配置し, 警防課機械係を警防課装備係とする |
| 10. 10 | 昭和幼稚園・保育園幼年消防クラブ結成 | 14. 5 | 呉市防災センター入館者10万人達成 |
| 10. 11 | 携帯電話119番受付開始 | 14. 6 | 横路保育所幼年消防クラブ結成 |
| 10. 12 | 大新土木(株)から高度救命用資機材装備の2B型救急車(西消防署)の寄贈 | 14. 8 | 集中豪雨により, 西三津田町で崖崩れ 死者1名 |
| 11. 4 | 条例定員338名に改正 | 15. 3 | 可搬式高圧噴霧消火装置(インパルス消火システム)2基導入 |
| 11. 6 | 集中豪雨により, 災害救助法の適用を受ける | | 西消防署40m級はしご付消防自動車更新 |
| | 死者8名, 負傷者5名, 家屋全壊18戸, 半壊・一部損壊146戸, 浸水家屋1,780戸 | 15. 4 | 呉市と安芸郡下蒲刈町合併 |
| 11. 8 | 静止画像伝送システム導入 | | 呉市消防団3分団増で24分団となる |
| 11. 10 | 豊浜, 豊町の消防事務を受託し, 大崎下島出張所を開設 | 15. 10 | 豊田郡川尻町で建物火災 |
| | 救急艇を建造し, 同出張所に配置 | 15. 10 | 1棟全焼, 死者5名 |
| | 管内救急隊は7隊となる | 15. 10 | 中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練を当市(呉大学)で開催 |
| 12. 1 | 安芸灘大橋開通 | 16. 1 | バブコック日立エコークラブから消防指令車の寄贈 |
| 12. 2 | 大新土木(株)から高規格救急車(東消防署)の寄贈 | 16. 2 | ダイユウ技研土木(株)から高度救命用資機材装備の高規格救急車寄贈 |
| 12. 4 | 参事補, 課長補佐を設ける | 16. 4 | 呉市と豊田郡川尻町合併 |
| 13. 3 | 安芸灘を震源とするM6.7の芸予地震発生 | | 消防局に通信指令課を新設4課となる |
| | (災害救助法の適用) | | 警防課通信第1係・通信第2係を通信指令課指令第1係・指令第2係に改編する。 |
| | 死者1名, 負傷者90名, 家屋全壊58戸, 半壊279戸, 一部損壊14,179戸 | | 各署に警防司令官を設ける |
| 13. 4 | 平成13年度中消会春季役員会・総会及び意見発表会を当市で開催 | | 各署の警防係を廃止 |
| 13. 9 | 救命消防隊発足 | | 条例定員356名に改正 |
| 13. 10 | 郷原出張所開設 | | 呉市消防団2分団増で26分団となる |
| | 管内救急隊は8隊となる | | |

- | | | | |
|--------|---|--------|---|
| 16. 9 | 台風18号により，災害救助法・被災者生活再建支援法の適用を受ける
負傷者14名，家屋全壊14戸，半壊29戸，一部損壊2,255戸 | 20. 6 | 本通4丁目建物火災第3出動（全焼1棟，焼失面積約1,365㎡） |
| 16. 10 | I P電話119番受付開始 | 20. 7 | 波多見保育所幼年消防クラブ結成 |
| 16. 11 | 江田島市制施行に伴い，江能広域行政組合が解散
音戸町，倉橋町から消防事務を受託する
音戸町，倉橋町用の消防緊急通信指令施設導入
条例定員402名に改正
1本部3署12出張所となる
管内救急隊は11隊となる | 20. 11 | 豊島大橋開通
呉市と今治市との消防相互応援に関する協定締結 |
| 17. 3 | 呉市と音戸町，倉橋町，蒲刈町，安浦町，豊浜町，豊町が合併して人口約26万人となる
蒲刈出張所開設
蒲刈出張所へダイユウ技研土木（株）から高度救命用資機材装備の高規格救急車寄贈
管内救急隊は12隊となる
1本部3署13出張所となる
呉市消防団は59分団増となり85分団となる | 21. 4 | 条例定員380名に改正
川尻・大崎下島出張所18人体制から12人体制へ変更
呉市消防団を再編し，85分団から37分団となる |
| 18. 3 | 通信指令庁舎建設工事開始 | 22. 4 | 条例定員を370名に改正
本通出張所と阿賀出張所を統合し，救急隊を配備した阿賀北出張所を開設
1本部3署11出張所体制（管内救急隊は14隊）となる |
| 19. 4 | 高機能消防指令センター（通信指令庁舎）運用開始
高圧ガス保安法及び火薬類取締法に関する事務が県より移譲される | 22. 7 | 7月12日からの大雨により災害救助法・被災者生活再建支援法の適用を受ける
死者1名，負傷者2名，家屋全壊4戸，半壊15戸，一部損壊38戸，床上浸水172戸，床下浸水319戸 |
| 19. 9 | 大新土木（株）から救急救命士仕様2B救急自動車（川尻出張所）の寄贈 | 22. 10 | 掲山林野火災（11ha焼損） |
| 20. 1 | 呉消防マスコットキャラクター「フォーエールくん」決定 | 23. 3 | 東日本大震災による甚大な津波被害が発生し，緊急消防援助隊広島県隊として宮城県名取市へ派遣
（3/12～4/13，97名） |
| 20. 3 | 自治体消防60周年記念ミュージカル「地震カミナリ火事オヤジ」公演 | 23. 5 | 第93回全国消防長会財政委員会が当市で開催 |
| 20. 4 | 警防課内に危機管理室を新設
通信指令課に通信司令官を設ける
長浜出張所を廃止し，1本部3署12出張所となる
条例定員385名に改正
仁方出張所に救急自動車配備 | 23. 9 | 呉市消防局庁舎建設推進会議設置 |
| | | 24. 3 | 消防局・西消防署庁舎改修工事（外壁・防水・配水管・排水管） |
| | | 24. 4 | 3署に救急係を新設
西・東消防署の予防係を予防査察係に名称変更
東広島・呉自動車道が部分開通（12.3km） |
| | | 25. 2 | 東消防署に30m級の水路管付はしご車を配置 |
| | | 25. 3 | 第2音戸大橋開通 |

25. 4 消防総務課経理係を消防総務課管理係に
警防課救急装備係を警防課救急係に改編する
26. 8 8.20豪雨災害により甚大な被害を受けた広島市へ県内広域消防相互応援協定に基づき応援隊を派遣
27. 1 東消防署の救助工作車Ⅲ型を更新
27. 3 東広島・呉自動車道が全線開通（高屋～阿賀 32.8km）
27. 4 警防課危機管理室を市長部局総務部に危機管理課として移設
27. 6 呉市消防局・西消防署新庁舎等建設工事設計者選定委員会設置
28. 3 消防庁長官から呉市消防局・呉市消防団が竿頭綬を授与された
呉市消防局・西消防署新庁舎等建設工事に伴う基本設計策定
消防救急デジタル無線運用開始
28. 4 呉市が全国で46市目（佐世保市と同時）の中核市へ移行
29. 4 通信指令課と警防課を統合し、3課となる
通信指令課指令第1係、第2係を警防課指令第1係、第2係に改編する
西・東消防署に救急司令官を設ける
通信司令官を廃止
29. 7 九州北部豪雨による甚大な浸水・土砂の被害が発生し、緊急消防援助隊広島県隊として福岡県朝倉市杷木林田、東峰村へ派遣（7/6～7/25、49名）
30. 3 呉市消防局・西消防署新庁舎等建設工事に伴う実施設計策定
30. 4 呉市消防局高機能消防指令センター整備事業事業者選定委員会設置
30. 7 平成30年7月豪雨発生
集中豪雨により、激甚災害の指定及び災害救助法の適用を受ける
緊急消防援助隊島根県隊の派遣を受ける
- 死者29名、負傷者22名、家屋全壊324戸、大規模半壊133戸、半壊766戸、一部損壊1,263戸、床下浸水741戸
30. 9 呉市消防局・西消防署新庁舎等建設工事に着手
呉市消防局高機能消防指令センター整備事業に着手
31. 3 一般国道185号休山新道4車線化
31. 4 自主防災組織に関する事務を総務部危機管理課へ移譲する
呉市消防団川尻西・東分団が統合し、36分団となる
- 令和1. 5 呉海上保安部との消防活動等に関する業務協定を締結
2. 2 西消防署に35m級先端屈折式はしご付消防自動車を配置
2. 3 呉市消防局・西消防署新庁舎供用開始
2. 4 警防課に高度救助隊を発足
音戸消防署を西消防署音戸分署に改編する
西消防署昭和出張所を西消防署昭和分署に改編する
音戸消防署倉橋出張所を西消防署倉橋出張所に改編する
音戸分署、昭和分署に分署長・副分署長を設ける
2. 4 新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、全都道府県を対象に緊急事態宣言が発令（4/16～5/14）
新型コロナウイルス感染症感染拡大状況を踏まえ、各種イベントを中止
3. 4 大張矢林野火災から50年
- 3.10 機能別消防団員制度を導入
4. 1 大規模災害対応訓練施設が完成
4. 3 東広島・呉自動車道阿賀ICの立体化
4. 3 広多賀谷4丁目の呉市一般廃棄物一時保管場所の火災で4,200m³を焼損
5. 1 消防出初式を4年ぶりに開催
5. 4 呉市消防団蒲刈向・中央・大浦分団が統合し、34分団となる

- 5. 12 呉市と今治市との消防相互応援に関する協定に基づく、今治市関前地区で発生した救急事案の対応を変更
- 6. 10 大新土木（株）から高度救命用資機材装備の高規格救急車寄贈
- 7. 3 愛媛県今治市で大規模な林野火災が発生し、緊急消防援助隊広島県隊として派遣
(3/25～3/31, 42名)

消防機関の配置

消 防 管 内 図

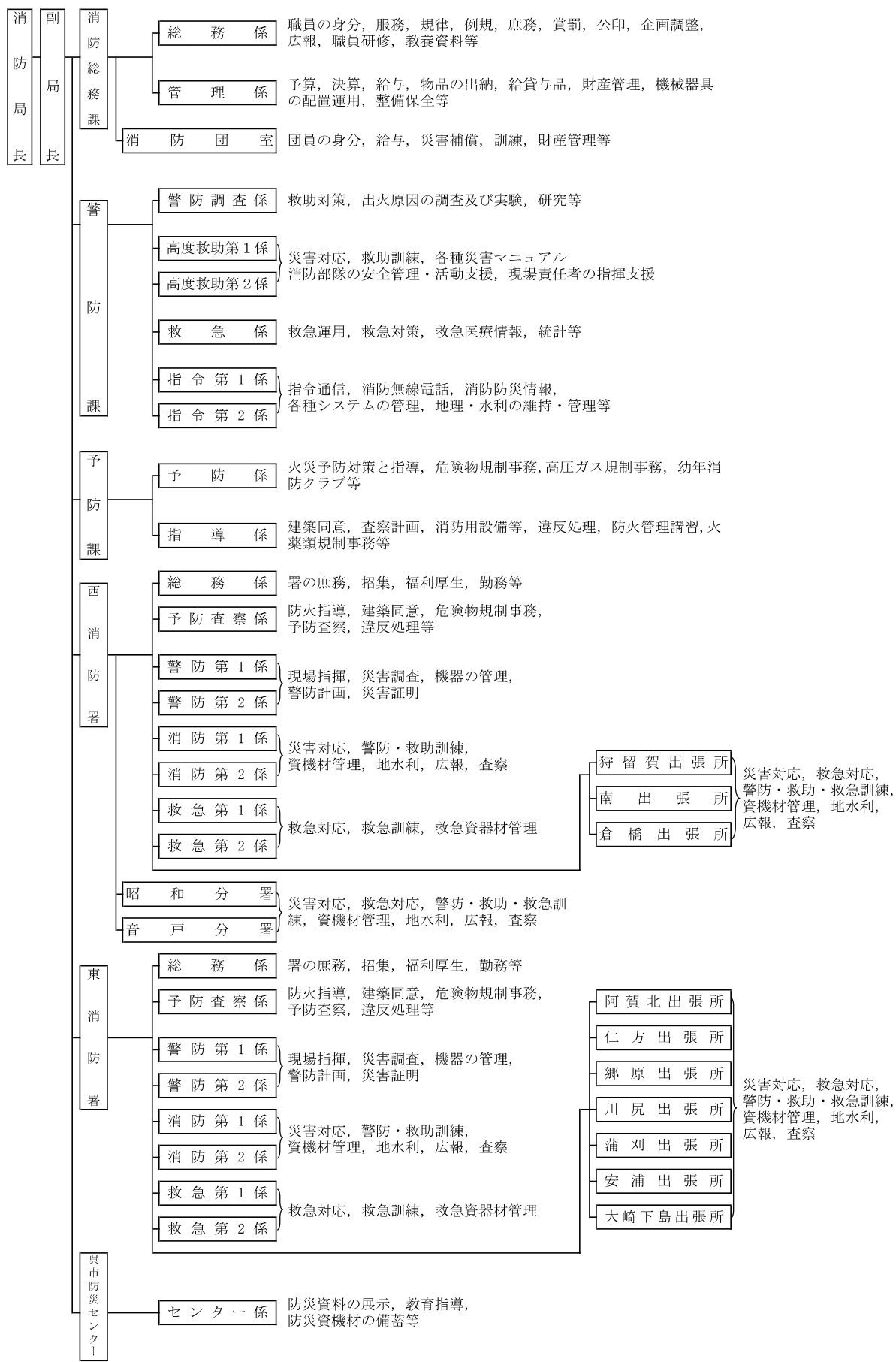


建 物（庁舎）の 現 況

名 称	位 置	構 造	建築面積㎡	延面積㎡	備 考
消防局・西消防署	呉市西中央3丁目1番9号	鉄骨鉄筋コンクリート一部鉄骨 4階建	1,397.68	3,883.04	地下40トン水槽
主 訓 練 棟	〃	鉄筋コンクリート一部鉄骨 4階建	53.94	118.19	
副 訓 練 棟	〃	鉄筋コンクリート一部鉄骨 地下1階地上3階建	78.24	119.38	
昭 和 分 署	〃 焼山中央2丁目8番21号	鉄筋コンクリート4階建	1,560.00	4,380.97 (642.59)	1・2階一部占用
音 戸 分 署	〃 音戸町高須2丁目1番19号	鉄筋コンクリート4階建	424.21	1,198.61	
訓 練 棟	〃	鉄筋コンクリート4階建	23.81	104.81	
狩 留 賀 出 張 所	〃 狩留賀町3番19号	鉄筋コンクリート2階建	356.41	602.76	
南 出 張 所	〃 宮原13丁目2番29号	鉄筋コンクリート2階建	278.03	448.78	
倉 橋 出 張 所	〃 倉橋町1771番地の1	鉄筋コンクリート2階建	373.90	671.69	
東 消 防 署 防 災 セ ン ター	〃 広古新開2丁目1番9号	鉄骨鉄筋コンクリート6階建 一部鉄筋コンクリート2階建	933.90	3,066.60	
訓 練 棟	〃	鉄骨鉄筋コンクリート 地下1階地上5階建	35.53	190.93	地下80トン水槽
阿 賀 北 出 張 所	〃 阿賀北4丁目3番27号	鉄筋コンクリート2階建	270.53	411.53	
仁 方 出 張 所	〃 仁方本町1丁目6番18号	鉄筋コンクリート 地下1階地上4階	978.76	3,692.19 (246.46)	1階一部占用
郷 原 出 張 所	〃 郷原町7100番地	鉄筋コンクリート2階建	284.84	353.75	
川 尻 出 張 所	〃 川尻町西1丁目1番1号	鉄筋コンクリート3階建	440.66	1,239.82 (385.17)	1階一部占用
蒲 刈 出 張 所	〃 蒲刈町向字小市369番5	鉄筋コンクリート2階建	492.30	592.11	
安 浦 出 張 所	〃 安浦町中央6丁目2番1号	鉄筋コンクリート2階建	316.48	465.02	
大 崎 下 島 出 張 所	〃 豊浜町大字大浜311番地の1	鉄筋コンクリート2階建	311.90	548.71	

() 消防占用部分の床面積㎡

消防組織と事務分掌



総務

消 防 職 員

消 防 職 員 の 研 修 体 系

消 防 予 算

施 設 整 備

協 定 等 の 締 結 状 況

消 防 職 員

消防職員は、市民の防災の担い手として、住民の生命と生活を守り、安全なまちづくりを目指し、年々複雑多様化するあらゆる災害に対応すべく災害の予防、防除、救急救助等の消防業務に従事しています。

◎ 階級別年齢構成

令和 7 年 4 月 1 日現在

	合 計	消 防 正 監	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
18歳～19歳	2	—	—	—	—	—	—	—	2
20歳～24歳	32	—	—	—	—	—	—	—	32
25歳～29歳	65	—	—	—	—	—	21	—	44
30歳～34歳	63	—	—	—	—	7	50	—	6
35歳～39歳	33	—	—	—	—	15	15	—	3
40歳～44歳	30	—	—	—	6	18	4	2	—
45歳～49歳	52	—	—	4	22	17	9	—	—
50歳～54歳	41	—	3	9	9	10	9	1	—
55歳～59歳	20	1	1	7	3	3	4	1	—
60歳～64歳	36	—	—	—	6	3	21	6	—
合 計	374	1	4	20	46	73	133	10	87

※定年延長職員 9 名を含む。

※再任用フルタイム勤務職員 8 名及び再任用短時間勤務職員 1 9 名を含む。

※平均年齢 3 8 . 3 歳(再任用フルタイム勤務職員及び再任用短時間勤務職員は含まない。)

◎ 勤務年数別職員構成

令和 7 年 4 月 1 日現在

区 分	職員数(人)	構成率(%)
5年未満	53	15.3%
5年以上10年未満	67	19.3%
10年以上15年未満	64	18.4%
15年以上20年未満	32	9.2%
20年以上25年未満	40	11.5%
25年以上30年未満	41	11.8%
30年以上35年未満	33	9.5%
35年以上	17	4.9%
合 計	347	

※定年延長職員 9 名を含む。

※再任用フルタイム勤務職員 8 名及び再任用短時間勤務職員 1 9 名は含まない。

※構成率は、小数点第 2 位を四捨五入

◎ 消防職員の配置状況

令和7年4月1日現在

	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	会 計 年 度
合 計	374 〔19〕 (9)	1	4 (1)	20	46	73 (3)	133 〔16〕 (2)	10 〔3〕	87 (3)	3
消 防 局	69 〔1〕 (1)	1	2 (1)	9	14	19	24 〔1〕	－	－	1
	2 (1)	1	1 (1)	－	－	－	－	－	－	－
消 防 総 務 課	15 〔1〕	－	－	3	5	3	4 〔1〕	－	－	1
派遣(消防総務課付)	5	－	－	－	－	3	2	－	－	－
警 防 課	40	－	1	4	8	11	16	－	－	－
予 防 課	7	－	－	2	1	2	2	－	－	－
西 消 防 署	155 〔8〕 (6)	－	1	8	16	27 (2)	55 〔7〕 (1)	1 〔1〕	47 (3)	－
本 署	57 〔2〕 (4)	－	1	4	8	11 (1)	20 〔2〕 (1)	－	13 (2)	－
昭 和 分 署	22 〔2〕	－	－	2	1	3	7 〔1〕	1 〔1〕	8	－
音 戸 分 署	22 (2)	－	－	2	－	7 (1)	6	－	7 (1)	－
狩留賀出張所	18 〔1〕	－	－	－	3	2	7 〔1〕	－	6	－
南 出 張 所	18 〔1〕	－	－	－	2	2	7 〔1〕	－	7	－
倉 橋 出 張 所	18 〔2〕	－	－	－	2	2	8 〔2〕	－	6	－
東 消 防 署	148 〔9〕 (2)	－	1	3	15	27 (1)	53 〔7〕 (1)	9 〔2〕	40	－
本 署	60 〔2〕 (2)	－	1	3	12	9 (1)	19 〔2〕 (1)	－	16	－
阿賀北出張所	10 〔1〕	－	－	－	－	2	4	1 〔1〕	3	－
仁 方 出 張 所	10 〔1〕	－	－	－	－	2	6 〔1〕	－	2	－
郷 原 出 張 所	10 〔2〕	－	－	－	－	2	6 〔2〕	－	2	－
川 尻 出 張 所	10	－	－	－	－	3	4	－	3	－
蒲 刈 出 張 所	18 〔1〕	－	－	－	2	4	3	2 〔1〕	7	－
安 浦 出 張 所	18 〔1〕	－	－	－	1	3	5 〔1〕	3	6	－
大崎下島出張所	12 〔1〕	－	－	－	－	2	6 〔1〕	3	1	－
防災センター	2 〔1〕	－	－	－	1	－	1 〔1〕	－	－	2

※注1 〔 〕内は、再任用短時間勤務職員で内数（〔 〕内に再任用フルタイム勤務職員は含まない。）

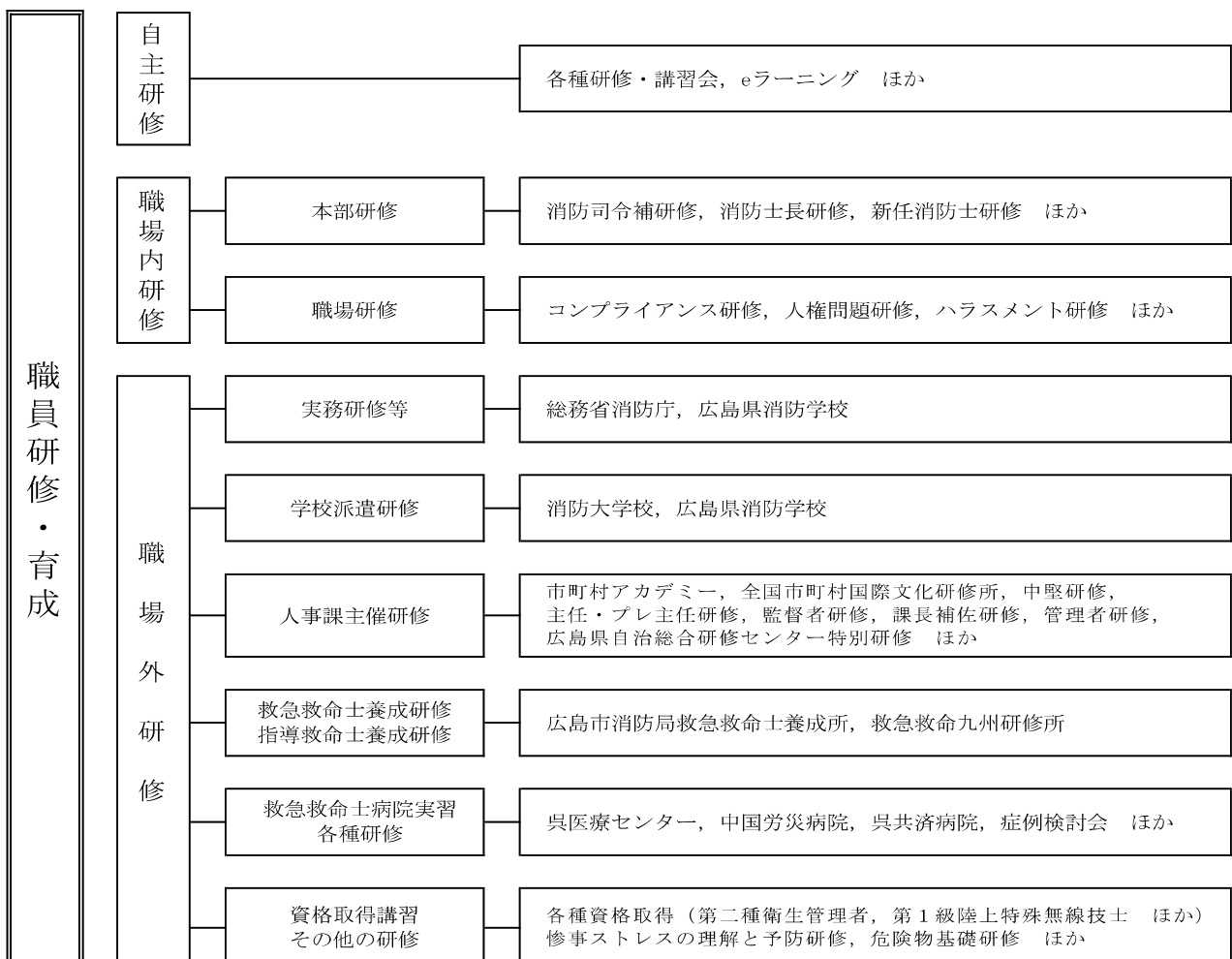
※注2 （ ）内は、女性職員で内数

消防職員の研修体系

呉市消防局人材育成基本方針の「目指すべき消防職員像」の実現を目指して研修計画を作成し、『自ら育つ、みんなで育てる』を理念として各種研修に取り組んでいます。

◎ 呉市消防局の目指すべき職員像

- (1) 市民の立場で考え行動する職員
- (2) 常に改革・改善に取り組む職員
- (3) 市民に信頼される職員
- (4) 法令を遵守し、規律と礼儀を重んじ、親切・丁寧な対応ができる職員
- (5) 常に学習意欲を持って自己啓発に努め、階級、階層及び立場に応じた高度な専門的知識や能力を持つ職員



◎ 令和6年度 職員研修結果

1 本部(消防局主催)研修【3種・367名】

種 別	期間	人員
新 任 消 防 士 研 修	5日	4名
消 防 士 長 研 修	2日	9名
ハラスメント研修(外部講師)	1日	354名

2 実務研修【2種・2名】

種 別	期間	人員
総 務 省 消 防 庁	通年	1名
広 島 県 消 防 学 校	通年	1名

3 消防大学校【3種・3名】

種 別	期間	人員
幹 部 科	47日	1名
救 助 科	51日	1名
査察業務マネジメントコース	7日	1名

4 広島県消防学校【12種・33名】

種 別		期間	人員
初 任 教 育		172日	4名
救 助 科		30日	4名
救 急 科	前 期	51日	2名
	後 期	56日	2名
予 防 査 察 科		12日	4名
警 防 科		14日	1名
初 級 幹 部 科		12日	2名
救急救命士教育	ス キ ル ア ッ プ	5日	2名
	リ ー ダ ー シ ッ プ	5日	2名
ビデオ硬性挿管用喉頭鏡講習		1日	3名
現 場 指 揮 者 養 成 教 育		5日	1名
上 級 救 助 隊 員 コ ー ス		15日	4名
J P T E C インストラクターコース		1日	2名

5 市町村アカデミー【1種・1名】

種 別	期間	人員
職 員 研 修 の 企 画 と 実 践	9日	1名

6 全国市町村国際文化研修所【1種・2名】

種 別	期間	人員
非常時における外国人とのコミュニケーション	17日	2名

7 広島県自治総合研修【9種・19名】

種 別	期間	人員
説 明 力 向 上	1日	10名
介護と仕事のライフデザイン	1日	1名
チ ー ム マ ネ ジ メ ン ト	1日	1名
ファシリテーションスキル向上	1日	1名
法 制 執 務	1日	1名
デ ー タ 分 析 ・ 活 用 力	1日	2名
タ イ ム マ ネ ジ メ ン ト	1日	1名
市 町 ・ 管 理 者 研 修	2日	1名
管 理 者 特 別 研 修	1日	1名

8 人事課主催研修【7種・50名】

種 別	期間	人員
管 理 者 研 修	1日	5名
課 長 補 佐 研 修	1日	4名
監 督 者 研 修	2日	5名
監 督 者 II 研 修	2日	11名
主 任 ・ プ レ 主 任 研 修	2日	3名
副 主 任 研 修	1日	10名
中 堅 研 修	1日	12名

※階層別研修のみ掲載

9 救急救命士・指導救命士養成研修【3種・11名】

種 別	期間	人員
救急救命士就業前病院実地研修	20日	7名
救急救命士養成課程研修	204日	3名
指 導 救 命 士 養 成 研 修	44日	1名

10 救急救命士病院実習【5種・106名】

種 別	期間	人員
従来型喉頭鏡による気管挿管病院実習	38日	2名
ビデオ硬性喉頭鏡による気管挿管病院実習	4日	1名
気 管 挿 管 再 講 習 病 院 実 習	6日	6名
再 教 育 病 院 実 習	6日	20名
静 脈 路 確 保 技 術 講 習	1日	77名

11 資格取得講習【14種・38名】

種 別	期間	人員
予 防 技 術 検 定	1日	4名
第1級陸上特殊無線技士講習	10日	2名
危険物取扱者保安講習	1日	2名
危険物取扱者(乙種第4類)	1日	3名
玉 掛 け 技 能 講 習	3日	1名
小型移動式クレーン運転技能講習	3日	1名
酸 素 欠 乏 ・ 硫 化 水 素	3日	1名
潜 水 士	1日	2名
二級小型船舶操縦士講習	3日	2名
二級小型船舶操縦免許更新講習	1日	8名
フルハーネス型墜落制止用器具特別教育講習	1日	1名
テールゲートリフター特別教育講習	1日	1名
第2種衛生管理者	2日	3名
大 型 自 動 車 運 転 免 許	-	7名

12 その他の研修【10種・16名】

種 別	期間	人員
安 全 衛 生 研 修 会	1日	3名
安全運転管理者等法定講習	1日	3名
若手職員連携強化研修会	1日	2名
消防職員のための惨事ストレスの理解と予防	2日	1名
特別管理産業廃棄物管理責任者講習	1日	2名
違反是正の推進に係る実務研修	4日	1名
高圧ガス保安法令セミナー	1日	1名
消防職員安全衛生管理研修会	2日	1名
煙火の消費に関する講習会	1日	1名
火 薬 類 保 安 教 育 講 習 会	1日	1名

消 防 予 算

当市における令和7年度一般会計当初予算額は、1,116億9,000万円で、このうち消防費は、47億6,793万円で構成比は4.3%です。

(単位:千円)

一般会計 予算額	消防費 予算額			
		常備消防費	非常備消防費	消防施設費
111,690,000	4,767,925	3,291,409	240,838	1,235,678

◎ 過去5年間の予算概要

(単位:円)

年 度	一 般 会 計	消 防 費	構 成 比
令和2年度	100,402,000,000	3,764,468,000	3.7%
令和3年度	97,346,000,000	3,673,021,000	3.8%
令和4年度	100,803,000,000	3,535,361,000	3.5%
令和5年度	106,283,000,000	3,775,818,000	3.6%
令和6年度	108,960,000,000	4,265,937,000	3.9%

施 設 整 備

施設の整備は、年次計画的に鋭意進めています。
令和6年度に実施した整備事業は、次のとおりです。

事 業 名 (事業費:千円)	主 な 事 業 内 容
消防庁舎等整備事業 (95,346)	○大規模災害対応訓練施設改修工事（門扉ほか） ○東消防署車庫照明器具LED化改修工事 ○東消防署郷原出張所外壁改修その他工事 ○西消防署音戸分署外10施設照明器具LED化改修工事
消防車両整備事業 (68,659)	○2B型救急自動車（西救急2号車）更新 ○高規格救急自動車（安浦救急1号車）更新 ○小型動力ポンプ付積載車 （阿賀北2号車・大崎下島2号車）更新 ○指令車（くれ9号車）更新
消防水利整備事業 (33,636)	○既設防火水槽埋戻し工事（本通8丁目地区） ○消火栓設置工事負担金
消防通信施設整備事業 (8,167)	○広島県総合行政通信網再編整備工事（衛星系）負担金
消防資機材整備事業 (46,696)	○救急車積載用資機材 （西救急2号車・安浦救急1号車）1式 ○防火衣（更新31着，新規4着）35着 ○空気ボンベ・空気ボンベ（潜水用） 救命消防隊用AED
消防通信施設改修事業 (219,265)	○高機能消防指令センター改修業務
消防庁舎等建設事業 (233,817)	○川尻出張所・川尻分団車庫新庁舎建設関係 （敷地造成工事・アスベスト含有調査・アスベスト含有目視調査業務・建設工事・電気設備工事・空調設備工事・給排水設備工事）

消防団詰所等整備事業 (84,260)	○広中央分団（広中新開3）車庫建設関係 （建設工事・電気設備工事・給排水設備工事） ○広東分団（広白石4）詰所建設関係 （代替建物建設工事・代替建物電気設備工事・代替 建物機械設備工事・設計委託業務） ○安浦安登分団（安登西6）詰所建設関係 （設計委託業務） ○川尻分団車庫建設関係 （建設工事・電気設備工事・空調設備工事・給排水 設備工事） ○湾岸分団詰所（吉浦）修繕工事 ○音戸西分団（田原2）詰所下水道直結工事
消防団車両等整備事業 (8,496)	○小型動力ポンプ付積載車 8台 （大和分団・中央分団・阿賀分団・広北分団・音戸 南分団・音戸南分団・音戸西分団・倉橋南分団）

協定等の締結状況

協 定 名	締結年月日	締 結 機 関	協 定 の 概 要
呉市消防局と呉海上保安部による業務協定	昭和43年 10月1日	呉海上保安部	船舶の火災活動に関する協約 ※ 令和元年5月30日廃止
呉市と在日米陸軍による消防相互援助協約	昭和45年 9月16日	在日米陸軍	管轄区域内の火災を対象
ガス漏れ及びガス爆発事故防止に関する業務協約	昭和63年 12月1日	広島ガス(株)	ガス災害を未然防止及び災害活動に関する協約
広島県防災ヘリコプター応援協定	平成8年 7月11日	広島県	回転翼航空機を用いた災害応援
呉市と今治市との消防相互応援に関する協定	平成20年 11月18日	今治市	呉市及び今治市の応援実施区域内における救急事案に対する相互応援
広島県内広域消防相互応援協定	平成29年 6月1日	県内全市町 消防組合	協定市町で発生した災害に対する相互応援
広島県内航空消防応援協定	平成29年 9月1日	広島市	回転翼航空機を用いた災害応援
呉市消防局と呉海上保安部との消防活動等に関する業務協定	令和元年 5月30日	呉海上保安部	消防活動と海難救助活動に関し、両機関が相互に協力する協約

予 防

予 防 査 察
建 築 物 の 防 火 指 導
火 薬 類 の 規 制
危 険 物 の 規 制
高 圧 ガ ス の 保 安
消 防 ク ラ ブ
防 災 セ ン タ ー

予 防 査 察

◎ 消防用設備等を必要とする対象物の現況

令和 7 年 3 月 3 1 日現在

政令区分		署 別	合 計	西消防署	東消防署
1	イ	映 画 館 ・ 観 覧 場	5	2	3
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	142	67	75
2	イ	キ ャ バ レ ー ・ カ フ ェ ー	1	1	-
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル	11	11	-
	ハ	性 風 俗 関 連 特 殊 営 業 店 舗 等	-	-	-
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	3	2	1
3	イ	待 合 ・ 料 理 店	4	4	-
	ロ	飲 食 店	72	43	29
4		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト	214	102	112
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所	113	55	58
	ロ	寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅	1,657	846	811
6	イ	病 院 ・ 診 療 所	127	69	58
	ロ	福 祉 施 設 ・ 救 護 施 設	76	45	31
	ハ	老 人 デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー 等	154	83	71
	ニ	幼 稚 園 ・ 養 護 学 校	29	10	19
7		小 ・ 中 ・ 高 ・ 大 ・ 各 種 学 校	260	129	131
8		図 書 館 ・ 博 物 館	17	11	6
9	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場	-	-	-
	ロ	そ の 他 の 公 衆 浴 場	8	5	3
10		停 車 場 ・ 棧 橋	2	1	1
11		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	75	55	20
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	923	302	621
	ロ	映 画 ・ テ レ ビ ス タ ジ オ	-	-	-
13	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	127	76	51
	ロ	飛 行 機 ・ 回 転 翼 航 空 機 の 格 納 庫	-	-	-
14		倉 庫	406	164	242
15		前 各 号 に 該 当 し な い 事 業 場	539	306	233
16	イ	特 定 用 途 の 複 合 対 象 物	645	435	210
	ロ	そ の 他 の 複 合 対 象 物	532	356	176
16の2		地 下 街	-	-	-
16の3		準 地 下 街	-	-	-
17		重 要 文 化 財	10	5	5
18		延 長 50m 以 上 の ア ー ケ ード	6	6	-
合 計			6,158	3,191	2,967

◎ 防火管理者を必要とする対象物の現況

令和7年3月31日現在

政令区分		署 別	合 計	西消防署	東消防署
1	イ	映画館・観覧場	4	2	2
	ロ	公会堂・集会場	133	62	71
2	イ	キャバレー・カフェー	1	1	－
	ロ	遊技場・ダンスホール	10	10	－
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等	－	－	－
	ニ	カラオケボックス等	2	1	1
3	イ	待合・料理店	3	3	－
	ロ	飲食店	59	37	22
4		百貨店・マーケット	157	75	82
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	34	22	12
	ロ	寄宿舍・共同住宅	291	171	120
6	イ	病院・診療所	43	26	17
	ロ	福祉施設・救護施設	54	33	21
	ハ	老人デイサービスセンター等	90	49	41
	ニ	幼稚園・養護学校	11	7	4
7		小・中・高・大・各種学校	73	38	35
8		図書館・博物館	13	8	5
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場	－	－	－
	ロ	その他の公衆浴場	2	1	1
10		停車場・栈橋	1	－	1
11		神社・寺院・教会	46	33	13
12	イ	工場・作業場	68	32	36
	ロ	映画・テレビスタジオ	－	－	－
13	イ	自動車車庫・駐車場	2	－	2
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫	－	－	－
14		倉庫	15	8	7
15		前各号に該当しない事業場	129	75	54
16	イ	特定用途の複合対象物	446	308	138
	ロ	その他の複合対象物	87	62	25
16の2		地下街	－	－	－
16の3		準地下街	－	－	－
17		重要文化財	3	1	2
18		延長50m以上のアーケード	－	－	－
合 計			1,777	1,065	712

◎ 消防用設備等を必要とする対象物の査察実施状況

令和6年度

政令区分		署 別	合 計	西消防署	東消防署
1	イ	映画館・観覧場	5	2	3
	ロ	公会堂・集会場	40	20	20
2	イ	キャバレー・カフェー	1	1	－
	ロ	遊技場・ダンスホール	3	3	－
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等	－	－	－
	ニ	カラオケボックス等	1	1	－
3	イ	待合・料理店	1	1	－
	ロ	飲食店	28	14	14
4		百貨店・マーケット	118	66	52
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	73	27	46
	ロ	寄宿舎・共同住宅	147	67	80
6	イ	病院・診療所	58	35	23
	ロ	福祉施設・救護施設	26	13	13
	ハ	老人デイサービスセンター等	69	36	33
	ニ	幼稚園・養護学校	16	3	13
7		小・中・高・大・各種学校	41	24	17
8		図書館・博物館	4	4	－
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場	－	－	－
	ロ	その他の公衆浴場	3	1	2
10		停車場・栈橋	2	1	1
11		神社・寺院・教会	30	24	6
12	イ	工場・作業場	215	75	140
	ロ	映画・テレビスタジオ	－	－	－
13	イ	自動車車庫・駐車場	19	8	11
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫	－	－	－
14		倉庫	91	35	56
15		前各号に該当しない事業場	155	95	60
16	イ	特定用途の複合対象物	286	199	87
	ロ	その他の複合対象物	145	107	38
16の2		地下街	－	－	－
16の3		準地下街	－	－	－
17		重要文化財	6	6	－
18		延長50m以上のアーケード	－	－	－
合 計			1,583	868	715

建築物の防火指導

◎ 建築同意の状況

令和6年度

種 別 署 別	合 計			一 般 住 宅			そ の 他		
	受 付 件 数	同 意 件 数	不同意 件 数	受 付 件 数	同 意 件 数	不同意 件 数	受 付 件 数	同 意 件 数	不同意 件 数
合 計	210	210	－	103	103	－	107	107	－
予 防 課	12	12	－	－	－	－	12	12	－
西 消 防 署	102	102	－	57	57	－	45	45	－
東 消 防 署	96	96	－	46	46	－	50	50	－

◎ 消防用設備等の届出状況

令和6年度

区 分		署 別	合 計	予防課	西消防署	東消防署
工事整備対象 設備等着工届	新 築		49	3	23	23
	増改築		169	8	88	73
消防用設備等 免除申請書	新 築		17	1	5	11
	増改築		62	3	38	21
消防用設備等 設 置 届	新 築		15	1	8	6
	増改築		181	9	99	73
防火対象物 使 用 届	新 築		49	4	23	22
	増改築		194	6	98	90

◎ 違反処理状況

年度	公表	警告	命令
令和3年度	1	2	－
令和4年度	－	7	1
令和5年度	2	6	3
令和6年度	1	6	1

◎ 届出対象物の現況

令和7年3月31日現在

種 別	署 別	合 計	西消防署	東消防署
炉 ・ 温 風 暖 房 機		249	145	104
厨 房 設 備		16	7	9
ボ イ ラ ー		566	327	239
乾 燥 設 備		124	66	58
サ ウ ナ 設 備		25	20	5
ヒートポンプ冷暖房機		9	8	1
火 花 を 生 ず る 設 備		1	-	1
放 電 加 工 機		8	5	3
変 電 設 備		2,045	1,204	841
急 速 充 電 設 備		2	1	1
発 電 設 備		302	192	110
燃 料 電 池 発 電 設 備		-	-	-
蓄 電 池 設 備		395	239	156
ネ オ ン 管 灯 設 備		25	22	3
貯 少 量 危 険 物		865	499	366
蔵 指 定 可 燃 物		167	48	119
取 圧 縮 ア セ チ レ ン ガ ス		32	13	19
無 水 硫 酸		1	-	1
液 化 石 油 ガ ス		819	426	393
生 石 灰		18	14	4
毒 物		2	-	2
所 劇 物		29	15	14
合 計		5,700	3,251	2,449

◎ 届出対象物の査察実施状況

令和6年度

種 別	署 別	合 計	西消防署	東消防署
炉 ・ 温 風 暖 房 機		29	12	17
厨 房 設 備		8	3	5
ボ イ ラ ー		164	87	77
乾 燥 設 備		27	15	12
サ ウ ナ 設 備		4	4	-
ヒートポンプ冷暖房機		9	8	1
火 花 を 生 ず る 設 備		-	-	-
放 電 加 工 機		-	-	-
変 電 設 備		421	242	179
急 速 充 電 設 備		-	-	-
発 電 設 備		92	60	32
燃 料 電 池 発 電 設 備		-	-	-
蓄 電 池 設 備		34	25	9
ネ オ ン 管 灯 設 備		6	6	-
貯 少 量 危 険 物		161	76	85
蔵 指 定 可 燃 物		20	6	14
取 圧 縮 ア セ チ レ ン ガ ス		6	2	4
無 水 硫 酸		-	-	-
液 化 石 油 ガ ス		105	55	50
生 石 灰		-	-	-
毒 物		-	-	-
所 劇 物		2	-	2
合 計		1,088	601	487

◎ 各種届出書等の受理状況

令和6年度

区 分		署 別	合 計	西消防署	東消防署
合 計			2,269	1,189	1,080
法 第 8 条・法 第 3 6 条	小 計		952	592	360
	防 火 管 理 者 選 任		290	177	113
	防 火 管 理 者 解 任		268	160	108
	防 災 管 理 者 選 任		7	7	－
	防 災 管 理 者 解 任		7	7	－
	消防計画作成・変更(火災)		368	229	139
	消防計画作成・変更(地震)		12	12	－
法 第 9 条 の 3	小 計		14	3	11
	圧 縮 ア セ チ レ ン ガ ス		5	3	2
	液 化 石 油 ガ ス		7	－	7
	無 水 硫 酸		－	－	－
	生 石 灰		－	－	－
	毒 物		2	－	2
	劇 物		－	－	－
条 例	小 計		1,303	594	709
	炉・温風暖房機		8	2	6
	厨 房 設 備		－	－	－
	ボイラー・給湯湯沸設備		9	7	2
	乾 燥 設 備		1	1	－
	サ ウ ナ 設 備		3	－	3
	ヒートポンプ冷暖房機		－	－	－
	火花を生ずる設備		－	－	－
	放 電 加 工 機		1	－	1
	変 電 設 備		56	30	26
	急 速 充 電 設 備		2	1	1
	発 電 設 備		6	5	1
	燃料電池発電設備		－	－	－
	蓄 電 池 設 備		10	4	6
	ネオン管灯設備		－	－	－
	少 量 危 険 物		47	18	29
	指 定 可 燃 物		4	2	2
	禁 止 行 為 の 解 除 承 認		9	9	－
	水素ガスを充てんする気球		1	1	－
	火災とまぎらわしい行為等		1,031	442	589
	煙 火 の 消 費		18	14	4
	催 物		1	1	－
	露 店 等		75	57	39
	指 定 洞 道		－	－	－

◎ 防火対象物定期点検報告と特例認定状況

令和6年度

区 分 \ 署 別	合 計	西消防署	東消防署
防火対象物定期点検報告	110	70	40
防火対象物特例認定の認定数	18	14	4

◎ 防災管理者の選任届・自衛消防組織届出現況

令和7年3月31日現在

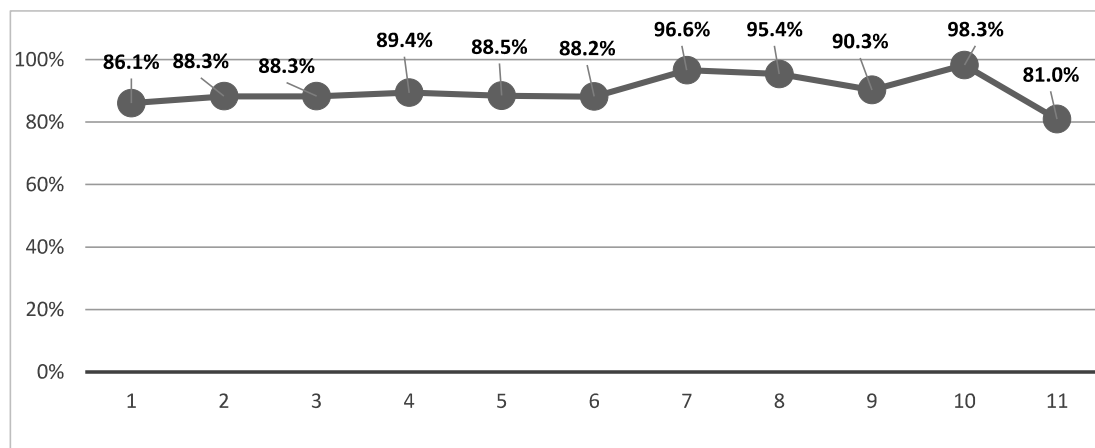
区 分 \ 署 別	合 計	西消防署	東消防署
防災管理者選任届出数	21	12	9
自衛消防組織設置届出数	21	12	9

◎ 中高層建築物の現況（消防用設備等を必要とするもの）

令和7年3月31日現在

階 数 \ 署 別	合 計	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	19階
合 計	2,709	1,055	757	394	123	86	75	43	48	29	26	15	40	17	1
西消防署	1,675	517	509	281	98	53	57	33	39	20	20	5	28	14	1
東消防署	1,034	538	248	113	25	33	18	10	9	9	6	10	12	3	-

◎ 住宅用火災警報器の設置率



※ 調査方法が無作為抽出方式のため、設置率が減少する場合があります。

火薬類の規制

◎ 火薬類関係事業所数

令和7年3月31日現在

区 分	種 類 別	事 業 所 数
火 薬 類 製 造	産 業 火 薬	—
	煙 火	—
	小 計	—
火 薬 類 販 売	産 業 火 薬 類	3
	実包及び猟用火薬類	—
	建設用鋸打銃用空包	—
	船 舶 用 火 工 品	1
	煙 火	—
	競 技 用 紙 雷 管	2
	小 計	6
合 計		6

◎ 火薬類関係貯蔵箇所数

令和7年3月31日現在

種 類 別	業 種 別	所 有 者 数	棟 数	うち休止棟数
1 級 火 薬 庫	火 薬 類 製 造	—	—	—
	火 薬 類 販 売	2	4	—
	建 設	—	—	—
	採 石	—	—	—
	鉱 業	—	—	—
	小 計	2	4	—
2 級 火 薬 庫	建 設	—	—	—
3 級 火 薬 庫	火 薬 類 製 造	—	—	—
	火 薬 類 販 売	—	—	—
	そ の 他	—	—	—
	小 計	—	—	—
水 蓄 火 薬 庫	火 薬 類 製 造	—	—	—
実 包 火 薬 庫	火 薬 類 販 売	—	—	—
煙 火 火 薬 庫	火 薬 類 製 造	—	—	—
	火 薬 類 販 売	1	1	—
	そ の 他	—	—	—
	小 計	1	1	—
合 計		3	5	—
火 薬 庫 外 貯 蔵 所	火 薬 類 販 売	2	2	
	建 設	—	—	
	採 石	—	—	
	そ の 他	3	3	
	合 計	5	5	

◎ 火薬類許可件数

令和6年度

許 可 区 分			許 可 件 数
譲 渡	目的	残 火 薬 の 処 分	－
		そ の 他	－
	小 計		－
譲 受 (注 1)	目的	建 設 工 事	－
		採 石	－
		鉱 業	－
		そ の 他	1
	小 計		1
譲 受 ・ 消 費 (注 2)	目的	建 設 工 事	6
		採 石	4
		そ の 他	－
	小 計		10
消 費 (注 3)	目的	建 設 工 事	－
		採 石	－
		そ の 他	－
	小 計		－
そ の 他 許 可	煙 火 等 製 造		－
	製 造 施 設 変 更		－
	火 薬 類 販 売		－
	火 薬 庫 設 置 ・ 移 転		－
	火 薬 庫 変 更		－
	煙 火 消 費		6
	廃 棄		－
	輸 入		－
	小 計		6
合 計			17

注1 「譲受」は譲受についてのみの許可

注2 「譲受・消費」は消費の許可とあわせて譲受の許可を行ったもの

注3 「消費」は消費についてのみの許可（煙火消費許可を除く。）

◎ 火薬庫保安検査実施棟数

令和6年度

種類別	1級	2級	3級	水蓄	実包	煙火	合計
実施棟数	4	—	—	—	—	1	5

◎ 火薬類立入検査実施件数

令和6年度

業種別 \ 区分	消費場所	火薬庫 (棟数)	火薬庫外 貯蔵所	製造所	販売所	合計
火薬類製造販売	—	5	2	—	6	13
建設	—	—	—	—	—	—
採石	3	—	—	—	—	3
その他	6	—	3	—	—	9
合計	9	5	5	—	6	25

◎ 火薬類届出状況

令和6年度

項目	届出件数
火薬類取扱保安責任者等選任・解任届	19
許可申請書等記載事項変更報告（届出）書	23
廃止届	—
貯蔵火薬类等変更届（火薬庫）	—
貯蔵火薬类等変更届（火薬庫外）	2
火薬庫継承届	—
使用休止届	—
軽微変更届	—
その他	25
合計	69

危険物の規制

◎ 危険物施設現況

令和7年3月31日現在

署 別 区 分	合 計	西消防署	東消防署
屋 内 貯 蔵 所	103	57	46
屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	42	18	24
屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	14	10	4
地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	65	38	27
簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	6	2	4
移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	57	28	29
屋 外 貯 蔵 所	24	20	4
給 油 取 扱 所	76	33	43
第 1 種 販 売 取 扱 所	1	－	1
第 2 種 販 売 取 扱 所	1	1	－
移 送 取 扱 所	4	4	－
一 般 取 扱 所	98	55	43
合 計	491	266	225

◎ 危険物施設査察実施状況

令和6年度

署 別 区 分	合 計	西消防署	東消防署
屋 内 貯 蔵 所	33	21	12
屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	28	9	19
屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	2	2	－
地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	27	15	12
簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	2	1	1
移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	40	23	17
屋 外 貯 蔵 所	6	5	1
給 油 取 扱 所	51	23	28
第 1 種 販 売 取 扱 所	0	－	－
第 2 種 販 売 取 扱 所	－	－	－
移 送 取 扱 所	1	1	－
一 般 取 扱 所	45	21	24
合 計	235	121	114

◎ 危険物関係事務処理状況

令和6年度

区 分		所 管 別			
		合 計	予防課	西消防署	東消防署
許 可	設 置	4	4		
	変 更	20	4	9	7
完 成 検 査	設 置	3	3		
	変 更	19	4	9	6
仮 使 用 承 認		12	4	5	3
予 防 規 程 認 可		20	17	3	－
タ ン ク 検 査		30	1	4	25
仮貯蔵・仮取扱承認		11	－	9	2
届 出 処 理	譲 渡 引 渡	2	－	－	2
	品 名・数 量・ 指定数量の倍数変更	7	－	4	3
	廃 止	8	2	3	3
	災害（事故）発生届	3	1	2	－
	保安監督者選任・解任	30	2	23	5
	休 止 ・ 再 開	－	－	－	－
	軽 微 な 変 更 ・ 規 制 外 の 変 更	38	7	23	8
	消防用設備等着工届	1	－	1	－
	設 置 者 変 更	114	8	75	31
	管 理 者 変 更	12	1	10	1
そ の 他		2	－	1	1
総 事 務 処 理 件 数		336	58	181	97

高圧ガスの保安

◎高圧ガス事業所の現況

令和7年3月31日現在

第一種製造者	第二種製造者	販売業者	第一種貯蔵所	第二種貯蔵所	特定高圧ガス消費者
34	286	136	12	27	29

◎高圧ガス保安法事務処理状況

令和6年度

区 分	件 数	区 分	件 数
高 圧 ガ ス 製 造 許 可 申 請	1	貯 蔵 所 廃 止 届	1
高 圧 ガ ス 製 造 事 業 届	1	高 圧 ガ ス 販 売 廃 止 届 書	—
許 可 の 取 消 し	—	高 圧 ガ ス 製 造 施 設 休 止 届	—
製 造 事 業 者 承 継 届	—	特 定 高 圧 ガ ス 消 費 届	1
高圧ガス製造施設等変更許可申請	3	特 定 高 圧 ガ ス 消 費 者 承 継 届	—
高圧ガス製造施設軽微変更届	6	特 定 高 圧 ガ ス 消 費 設 備 等 変 更 届	—
高 圧 ガ ス 製 造 施 設 等 変 更 届	—	特 定 高 圧 ガ ス 消 費 廃 止 届	—
第一種貯蔵所設置許可申請	1	危 害 予 防 規 程 届	3
第 一 種 貯 蔵 所 承 継 届	—	保安統括者，保安技術管理者， 保安係員，保安監督者選・解任届	9
第 二 種 貯 蔵 所 設 置 届	—		
第一種貯蔵所位置等変更許可申請	—	保安統括者代理者選・解任届	1
第一種貯蔵所軽微変更届	—	保 安 主 任 者 ， 保安企画推進員選・解任届	—
第二種貯蔵所位置等変更届	—		
製 造 施 設 完 成 検 査 申 請	3	冷凍保安責任者選・解任届	—
第一種貯蔵所完成検査申請	1	冷凍保安責任者代理者選・解任届	—
指定完成検査機関完成検査受検届	—	販 売 主 任 者 選 ・ 解 任 届	1
高圧ガス保安協会完成検査受検届	—	特 定 高 圧 ガ ス 取 扱 主 任 者 選 ・ 解 任 届	6
認定完成検査実施者完成検査届	—	保 安 検 査 （ 消 防 局 実 施 ）	4
高 圧 ガ ス 販 売 事 業 届	3	高 圧 ガ ス 保 安 協 会 保 安 検 査 受 検 届	2
高 圧 ガ ス 販 売 事 業 承 継 届	—	指 定 保 安 検 査 機 関 保 安 検 査 受 検 届	18
販売に係る高圧ガスの種類変更届	—	緊 急 停 止 命 令	—
高 圧 ガ ス 製 造 開 始 届	—	事 故 届	—
製 造 者 廃 止 届	13	合 計	78

消防クラブ

少年消防クラブ（B.F.C）は、昭和25年に消防庁がその結成を呼び掛けたのが始まりで、当時は呉市立三坂地小学校や二河中学校（現：呉中央中学校）など25校にクラブが結成されました。現在では民間防火組織の結成指導に呼応して、幼年消防クラブ10団体、少年消防クラブ1団体、女性防火クラブ1団体の合計12団体が結成されています。

1 幼年消防クラブ

令和7年3月31日現在

組 織 名	設立年月日	クラブ員数
中新開子ども会幼年消防クラブ	昭和56年12月6日	9
焼山めいわ保育園幼年消防クラブ	平成4年11月5日	39
仁方こども園幼年消防クラブ	平成7年2月24日	53
明德保育所幼年消防クラブ	平成7年7月13日	11
なぎさ音戸保育園幼年消防クラブ	令和3年4月1日	16
名田保育園幼年消防クラブ	平成10年2月15日	45
認定こども園せいれんじ幼年消防クラブ	平成10年6月21日	148
昭和幼稚園・保育園幼年消防クラブ	平成10年10月19日	26
横路保育所幼年消防クラブ	平成14年6月21日	48
きらきら音戸保育園幼年消防クラブ	平成20年7月2日	35

2 少年消防クラブ

令和7年3月31日現在

組 織 名	設立年月日	クラブ員数
警固屋少年消防クラブ	昭和56年11月29日	26

3 女性防火クラブ

令和7年3月31日現在

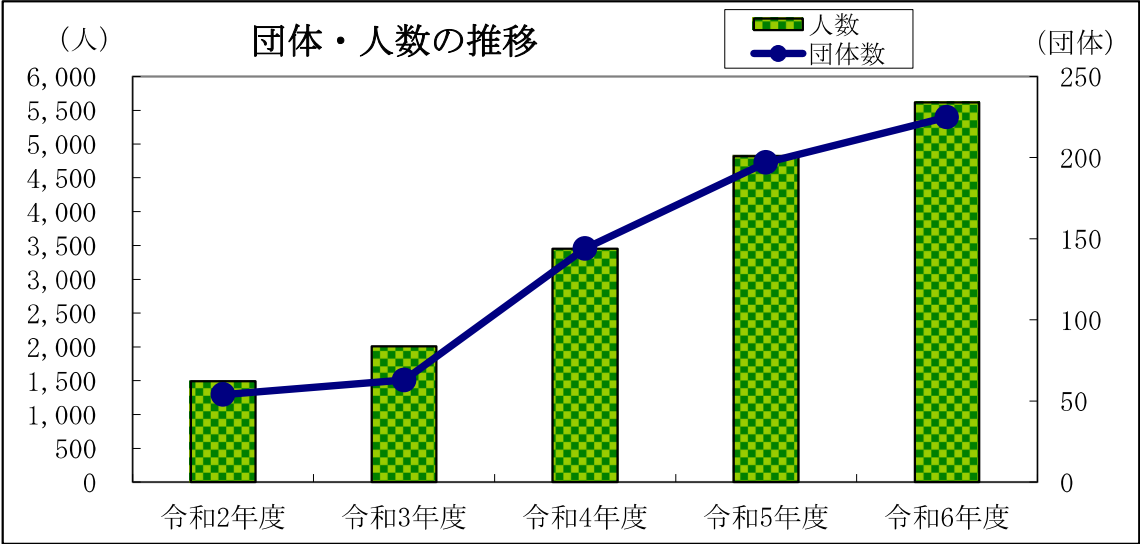
組 織 名	設立年月日	クラブ員数
女子畑女性防火クラブ	平成17年4月1日	15

防災センター

呉市防災センターは、市民の防災に関する知識及び技術の向上並びに防災意識の高揚を図ることを目的とし、昭和60年12月に設置しました。

防災センターの入館状況は、令和6年度中に225団体、利用者は個人を含めて5,614人であり、その内訳は次のとおりです。

			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
個人	大人	人 数	92	60	135	207	202
	子供		83	40	130	142	138
	小計		175	100	265	349	340
団体	自治会・自主防災会	団 体 数	2	－	2	6	10
		人 数	29	－	18	127	228
	子 供 会	団 体 数	－	－	－	－	－
		人 数	－	－	－	－	－
	学 校	団 体 数	9	10	15	21	28
		人 数	364	641	608	820	1, 187
	保 育 所 ・ 幼 稚 園	団 体 数	15	15	24	28	27
		人 数	531	519	685	748	727
	防 火 ク ラ ブ 等	団 体 数	4	4	5	6	7
		人 数	131	160	152	189	170
	事 業 所	団 体 数	7	11	20	27	41
		人 数	36	184	287	314	579
	救 急 講 習 会	団 体 数	8	5	12	24	36
		人 数	54	68	162	266	441
	外 国 人 研 修	団 体 数	3	－	27	29	27
		人 数	22	－	314	364	306
	そ の 他	団 体 数	6	18	39	56	49
		人 数	148	334	959	1, 641	1, 636
	小計	団 体 数	54	63	144	197	225
		人 数	1, 315	1, 906	3, 185	4, 469	5, 274
総 計		団 体 数	54	63	144	197	225
		人 数	1, 490	2, 006	3, 450	4, 818	5, 614



◎ 施設の内容

(1) 展示室・事務室（3階）



受付及び事務室



インフォメーション



消防知識Q & A
昔の消防器具コーナー



地震体験シミュレーション



煙中体験コーナー



消火シミュレーション



ホテル火災
シミュレーション



防災用品展示コーナー



呉市の防災体制コーナー



豪雨・暴風疑似体験学習コーナー

- | | |
|--------------|-------------------------|
| (2) 教室（3階） | 防火講座・座談会などを開きます。 |
| (3) ビデオ室（4階） | ビデオプロジェクターで視覚的な学習を行います。 |
| (4) 実習室（4階） | 危険物の燃焼・爆発などの実験を行います。 |
| (5) 大教室（5階） | 防災講演・講習会等多目的に活用します。 |

防 警

火	火	原	災
出	急	隊	因
救		支	急
救	防	水	援
救	防	機	助
消	防	通	利
消			械
消			信

火 災

令和6年中に管内で発生した火災は67件で、前年と比較して3件増加しました。
被害状況は、死者3名、負傷者7名、火災損害額89,136千円、建物焼損床面積1,307㎡となっています。
前年に比べると、火災損害額は58,483千円減少、死者は3名減少、負傷者は1名減少となっています。
約5日に1件の割合で火災が発生し、1件当たりの損害額は約1,330千円となっています。

◎ 火災概況

(令和6年中)

区 分		呉 市
火 災 発 生 件 数 (件)		67
建 物 火 災 件 数 (件)		32
建 物 焼 損 床 面 積 (㎡)		1,307
焼 損 棟 数 (棟)		43
火 災 損 害 額 (千 円)		89,136
建 物 火 災 損 害 額 (千 円)		88,663
り 災 世 帯 (世 帯)		15
り 災 人 員 (人)		36
死 者 (人)		3
負 傷 者 (人)		7
1 日 平 均	出 火 件 数 (件)	0.18
	損 害 額 (千 円)	244
	建 物 焼 損 床 面 積 (㎡)	3.58
	焼 損 棟 数 (棟)	0.12
火 災 1 件 当 た り の 損 害 額 (千 円)		1,330
建 物 火 災 1 件 当 た り の 損 害 額 (千 円)		2,771



出火原因

令和6年中の出火原因は「たき火」が18件で第1位、「たばこ」が9件で第2位、「電気装置」と「電気機器」それぞれ4件で第3位、「ストーブ」が3件で第4位となっています。

◎ 過去10年間の火災の主な出火原因

(各年中)

年 別	順位 区分	合計	1位	2位	3位	4位	5位	その他
平成27年	原 因		放火	たき火	たばこ	配線器具類	その他の火花	
	件 数	91	24	18	10	5	4	30
	(比 率)		(26.4%)	(19.8%)	(11.0%)	(5.5%)	(4.4%)	(33.0%)
平成28年	原 因		たき火	放火	たばこ	その他の火花	こんろ	
	件 数	72	14	8	6	4	3	37
	(比 率)		(19.4%)	(11.1%)	(8.3%)	(5.6%)	(4.2%)	(51.4%)
平成29年	原 因		たばこ	たき火	放火	天ぷら油	その他の火花	
	件 数	49	7	6	4	2	2	28
	(比 率)		(14.3%)	(12.2%)	(8.2%)	(4.1%)	(4.1%)	(57.1%)
平成30年	原 因		たき火	たばこ	放火	配線器具類	こんろ	
	件 数	59	12	9	7	6	4	21
	(比 率)		(20.3%)	(15.3%)	(11.9%)	(10.2%)	(6.8%)	(35.6%)
令和元年	原 因		たばこ	たき火	こんろ	放火	ストーブ	
	件 数	75	13	9	5	3	3	42
	(比 率)		(17.3%)	(12.0%)	(6.7%)	(4.0%)	(4.0%)	(56.0%)
令和2年	原 因		たき火	たばこ	放火	こんろ	焼却炉	
	件 数	64	17	8	4	3	3	29
	(比 率)		(26.6%)	(12.5%)	(6.3%)	(4.7%)	(4.7%)	(45.3%)
令和3年	原 因		たき火	たばこ	放火	こんろ	電気装置	
	件 数	60	13	8	6	3	3	27
	(比 率)		(21.7%)	(13.3%)	(10.0%)	(5.0%)	(5.0%)	(45.0%)
令和4年	原 因		たき火	たばこ	こんろ	配線器具	枯草焼き	
	件 数	85	16	9	6	5	4	45
	(比 率)		(18.8%)	(10.6%)	(7.1%)	(5.9%)	(4.7%)	(52.9%)
令和5年	原 因		たき火	たばこ	放火	こんろ	枯草焼き	
	件 数	64	17	6	5	4	4	28
	(比 率)		(26.6%)	(9.3%)	(7.8%)	(6.3%)	(6.3%)	(43.8%)
令和6年	原 因		たき火	たばこ	電気装置	電気機器	ストーブ	
	件 数	67	18	9	4	4	3	29
	(比 率)		(26.9%)	(13.4%)	(6.0%)	(6.0%)	(4.5%)	(43.3%)

※「その他」は、上位5位以外の総件数を示しています。

◎ 出火原因別の月別火災件数

(令和6年中)

原因別	月別件数												
	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
たき火	18	2	3	1	-	3	1	-	5	2	-	-	1
たばこ	9	2	2	2	-	-	-	1	1	-	-	1	-
電気装置	4	-	-	-	-	1	-	-	-	1	2	-	-
電気機器	4	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	2	-
ストーブ	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
排気管	3	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
その他の火花	3	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-
配線器具	2	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
灯火	2	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
放火・放火の疑い	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	17	1	2	1	1	2	1	1	1	1	3	1	2
合 計	67	7	10	5	1	8	5	3	10	5	5	4	4
令和5年中	64	9	6	9	6	2	5	2	6	3	7	4	5

※ 原因別のその他とは、上位10位以外の総件数です。

◎ 出火原因別の火災状況

(令和6年中)

原因別	火災種別(件)							焼損面積		死傷者(人)		損害額 (千円)
	合計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	建物 (㎡)	林野 (a)	死者	負傷者	
たき火	18	3	2	-	-	-	13	189	108	-	1	6,269
たばこ	9	3	-	1	-	-	5	27	-	1	-	3,355
電気装置	4	4	-	-	-	-	-	167	-	-	-	4,184
電気機器	4	2	-	1	-	-	1	-	-	-	1	67
ストーブ	3	3	-	-	-	-	-	68	-	1	3	3,600
排気管	3	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	2
その他の火花	3	1	-	1	-	-	1	10	-	-	-	291
配線器具	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	20
灯火	2	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	218
放火・放火の疑い	2	1	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-
その他	17	10	-	-	1	-	6	844	-	-	1	71,130
合計	67	32	2	4	2	-	27	1,307	108	3	7	89,136
令和5年中	64	36	2	3	-	-	23	1,171	76	6	8	147,619

※ 原因別のその他とは、上位10位以外の総件数です。

◎ 用途別・原因別火災概況

(令和6年中)

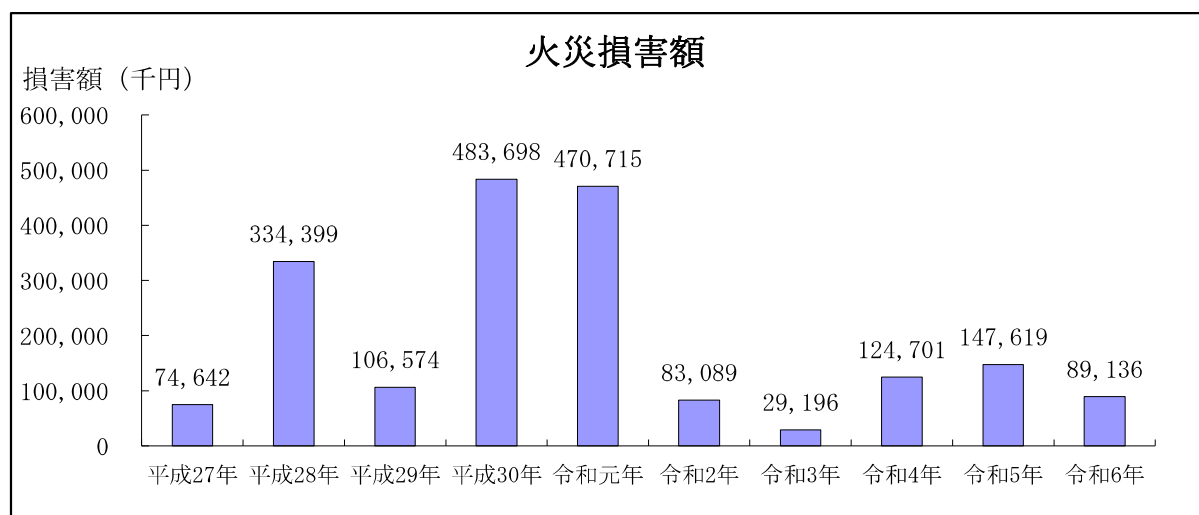
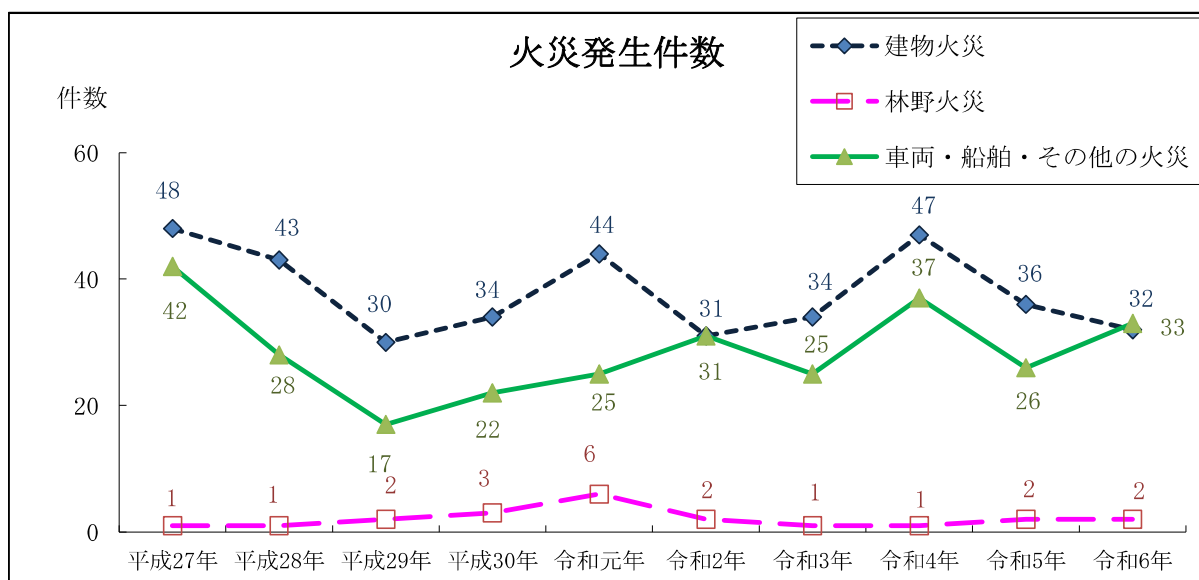
原因別	建 物 火 災												林 野 火 災	車 両 火 災	船 舶 火 災	そ の 他 の 火 災	総 合 計
	住 宅 関 係				住 宅 関 係 以 外												
	一 般 住 宅	共 同 住 宅	併 用 住 宅	小 計	空 家	工 場 ・ 作 業 場	車 庫 ・ 倉 庫	事 務 所	複 合 用 途 建 物	そ の 他	小 計	合 計					
たき火	1	-	-	1	-	-	2	-	-	-	2	3	2	-	-	13	18
たばこ	-	1	-	1	-	-	-	-	1	1	2	3	-	1	-	5	9
電気装置	-	-	-	-	-	2	-	-	1	1	4	4	-	-	-	-	4
電気機器	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	4
ストーブ	2	-	-	2	-	1	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	3
排気管	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	1	1	-	3
その他の火花	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	-	1	-	1	3
配線器具	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	2	2	-	-	-	-	2
灯火	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2
放火・放火の疑い	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	1	2
その他	2	1	-	3	-	1	3	-	1	2	7	10	-	-	1	6	17
合 計	9	2	-	11	-	6	5	-	3	7	21	32	2	4	2	27	67
令和5年中	11	4	1	16	-	7	3	-	4	6	20	36	2	3	-	23	64

※ 原因別のその他とは、上位10位及び不明以外の総件数です。

◎ 過去10年間の火災の推移

(各年中)

年 別	火 災 件 数			建物焼損床面積 (㎡)	損害額 (千円)	死傷者 (人)	
	合 計	建物火災	建物火災 以 外			死 者	負傷者
平 成 27 年	91	48	43	1,322	74,642	2	9
平 成 28 年	72	43	29	5,049	334,399	—	9
平 成 29 年	49	30	19	1,237	106,574	2	1
平 成 30 年	59	34	25	3,267	483,698	2	3
令 和 元 年	75	44	31	2,224	470,715	6	12
令 和 2 年	64	31	33	1,091	83,089	3	11
令 和 3 年	60	34	26	704	29,196	2	6
令 和 4 年	85	47	38	2,663	124,701	4	12
令 和 5 年	64	36	28	1,171	147,619	6	8
令 和 6 年	67	32	35	1,307	89,136	3	7



◎ 主な火災

(令和6年中)

出火日時			場 所	火災種別	火元焼損棟				損害額 (千円)	死者	出動
月	日	曜日			全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や			
1	13	土	安浦町安登	建物	1				2,105	－	第2
2	3	土	本通4丁目	建物			1		3,128	－	第1
2	11	日	安浦町三津口4丁目	車両					225	1	第1
3	3	日	広長浜4丁目	建物	1				4,717	－	第1
3	24	日	吉浦新出町	その他					－	1	第1
5	5	日	蒲刈町大浦	建物	1				3,962	－	第1
7	26	金	焼山北1丁目	建物	1				62,089	－	第1
8	3	土	倉橋町	建物	1				3,802	－	第1
12	9	月	焼山東1丁目	建物	1				2,737	1	第1

※ 主な火災とは、次のいずれかに該当する火災

- 1 300万円以上の損害が生じた火災
- 2 死者が発生した火災
- 3 第1出動以上の火災



◎ 月 別 火 災 発 生 件 数 及 び 損 害 状 況 (上半期)

(令和6年中)

区分 月別	火 災 件 数	火 災 種 別						焼 損 棟 数								合 計	り災程度				り 災 人 員	死 傷 者	
								火 元				類 焼					全 損	半 損	小 損	合 計		死 者	負 傷 者
		建 物	林 野	車 両	船 舶	航空機	その他	全 焼	半 焼	部分焼	ぼ や	全 焼	半 焼	部分焼	ぼ や								
		1 月	7	5	-	-	-	-	2	2	-	1	2	-	-								
2 月	10	4	-	1	-	-	5	-	-	1	3	-	-	-	-	4	-	-	1	1	6	1	1
3 月	5	2	-	-	-	-	3	2	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	1	1	1	-
4 月	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
5 月	8	3	-	1	-	-	4	1	-	-	2	-	-	-	-	3	-	-	1	1	4	-	2
6 月	5	2	-	-	-	-	3	-	-	1	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
上半期計	36	17	-	2	-	-	17	5	-	3	9	-	-	1	3	21	3	-	6	9	23	2	4
前年同期	37	24	1	-	-	-	12	4	-	7	13	4	-	3	4	35	2	1	14	17	30	5	5
対前年差	△ 1	△ 7	△ 1	2	-	-	5	1	-	△ 4	△ 4	△ 4	-	△ 2	△ 1	△ 14	1	△ 1	△ 8	△ 8	△ 7	△ 3	△ 1

◎ 月 別 火 災 発 生 件 数 及 び 損 害 状 況 (下半期)

(令和6年中)

区分 月別	火 災 件 数	火 災 種 別						焼 損 棟 数								合 計	り災程度				災 人 員	死 傷 者	
								火 元				類 焼					全 損	半 損	小 損	合 計		死 者	負 傷 者
		建 物	林 野	車 両	船 舶	航空 機	その他	全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や	全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や								
7 月	3	3	-	-	-	-	-	1	-	-	2	2	-	-	-	5	-	-	1	1	1	-	1
8 月	10	3	-	1	1	-	5	1	-	1	1	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	1
9 月	5	1	1	-	1	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
10月	5	4	-	-	-	-	1	1	-	-	3	-	-	-	2	6	-	-	2	2	6	-	-
11月	4	2	-	1	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	2	-	-	1	1	2	-	-
12月	4	2	1	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	2	4	1	-	1	2	4	1	1
下半期合計	31	15	2	2	2	-	10	6	-	1	8	3	-	-	4	22	1	-	5	6	13	1	3
令和6年合計	67	32	2	4	2	-	27	11	-	4	17	3	-	1	7	43	4	-	11	15	36	3	7
令和5年合計	64	36	2	3	-	-	23	7	1	7	21	7	1	5	7	56	5	3	19	27	52	6	8
令和4年 と 令和5年 の合計比較	3	△ 4	0	1	2	-	4	4	△ 1	△ 3	△ 4	△ 4	△ 1	△ 4	0	△ 13	△ 1	3	△ 8	△ 12	△ 16	△ 3	△ 1

◎ 月 別 焼 損 面 積 及 び 損 害 額 (上半期)

(令和6年中)

区分 月別	焼 損 面 積			損 害 額 (千 円)							
	建物 (㎡)		林 野 (a)	合 計	建 物		林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他
	床 面 積	表 面 積			建 物	収容物 (その他の損害 額も含む。)					
1 月	175	11	105	5,241	4,614	627	-	-	-	-	-
2 月	27	-	-	3,380	305	2,850	-	225	-	-	-
3 月	194	-	-	5,078	2,924	2,154	-	-	-	-	-
4 月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5 月	138	-	-	5,422	2,785	2,569	-	68	-	-	-
6 月	2	-	-	277	111	105	-	-	-	-	61
上半期計	536	11	105	19,398	10,739	8,305	-	293	-	-	61
前年同期	580	34	75	112,167	19,245	92,861	35	-	-	-	26
対前年差	△ 44	△ 23	30	△ 92,769	△ 8,506	△ 84,556	△ 35	293	-	-	35

◎ 月 別 焼 損 面 積 及 び 損 害 額 (下半期)

(令和6年中)

区分 月別	焼 損 面 積			損 害 額 (千 円)							
	建物 (㎡)		林 野 (a)	合 計	建 物		林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他
	床 面 積	表 面 積			建 物	収容物 (その他の損害 額も含む。)					
7 月	592	-	-	62,097	4,484	57,223	-	390	-	-	-
8 月	69	-	-	4,031	3,820	209	-	1	1	-	-
9 月	29	-	1	221	2	218	-	-	1	-	-
10月	8	-	-	492	320	56	-	-	-	-	116
11月	-	-	-	113	1	112	-	-	-	-	-
12月	73	14	2	2,784	875	1,906	-	2	-	-	1
下半期合計	771	14	3	69,738	9,502	59,724	-	393	2	-	117
令和6年合計	1,307	25	108	89,136	20,241	68,029	-	686	2	-	178
令和5年合計	1,127	29	181	54,850	30,586	23,633	-	493	-	-	138
令和5年 と 令和6年 の合計比較	180	△ 4	△ 73	34,286	△ 10,345	44,396	0	193	2	-	40

◎ 建 物 火 災

次の表のとおり、令和6年中の死者は3名（前年比3名減）、負傷者は7名（前年比1名減）となり、火災総件数は67件（前年比3件増）となっています。

（各年中）

区 分	令和5年	令和6年	増減
火 災 総 件 数（件）	64	67	3
全火災種別における損害額（千円）	147,619	89,136	△ 58,483
建 物 火 災（件）	36	32	△ 4
建物焼損床面積（㎡）	1,171	1,307	136
焼 損 棟 数（棟）	56	43	△ 13
建物火災における損害額（千円）	147,261	88,663	△ 58,598
り 災 世 帯（世帯）	27	15	△ 12
り 災 人 員（人）	52	36	△ 16
死 者（人）	6	3	△ 3
負 傷 者（人）	8	7	△ 1

◎ 過去10年間の出火率の変化

（各年中）

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
出火率	4.0	3.1	2.2	2.6	3.4	2.9	2.8	4	3.0	3.4

※ 出火率とは、人口1万人当たりの1年間の出火度をいいます。

令和6年中における出火率は、3.4件/万人（全国3.0件/万人、広島県2.8件/万人）となっています。

◎ 建物火災損害額の推移

(各年中)

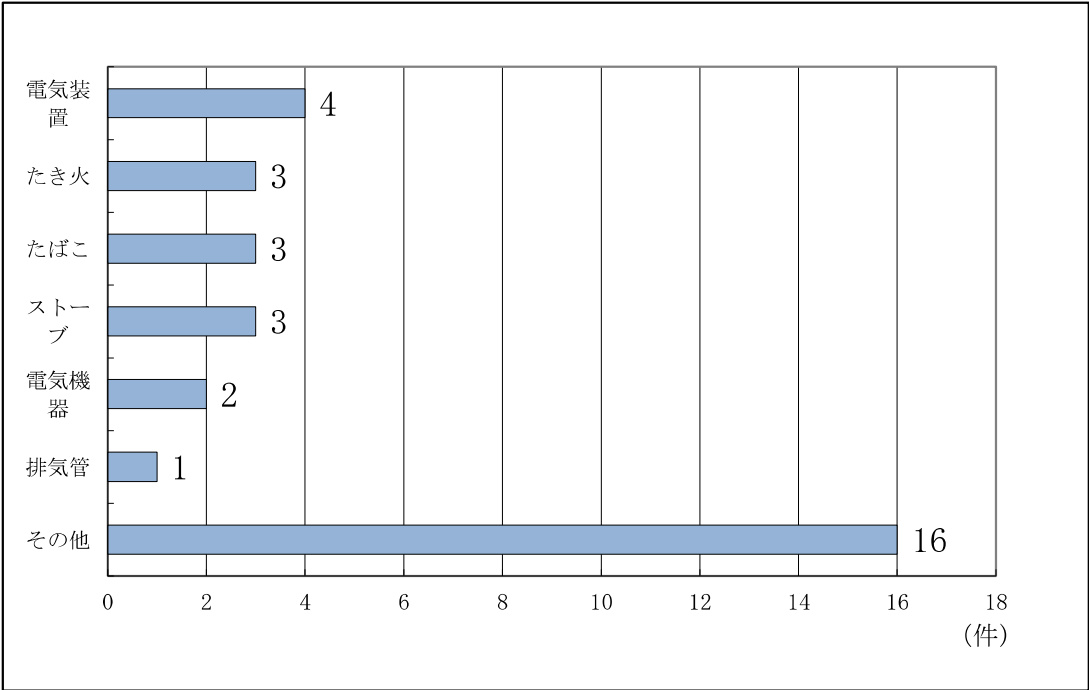
区分 \ 年別	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年
建物火災 損害額 (千円)	71,649	330,103	105,967	478,520	466,270	50,543	26,838	124,400	147,261	88,663
指 数	100	461	148	668	651	71	37	174	206	124
建物火災1件 当たりの 損害額(千円)	1,493	7,642	2,175	8,198	10,597	1,630	789	2,647	4,091	2,771
指 数	100	512	146	549	710	109	53	177	274	186

※ 指数は平成26年を「100」としています。

※ 損害額は収容物を含むものとしています。

◎ 建物火災の主な原因別火災状況

(令和6年中)



◎ 火災種別件数

(各年中)

区 分	火 災 種 別						合計
	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	
令和6年	32(11)	2	4	2	－	27	67
令和5年	36(16)	2	3	－	－	23	64
増減	△4(△5)	－	1	2	－	4	3

※ ()内は、一般住宅、共同住宅、併用住宅を含む住宅の火災件数です。

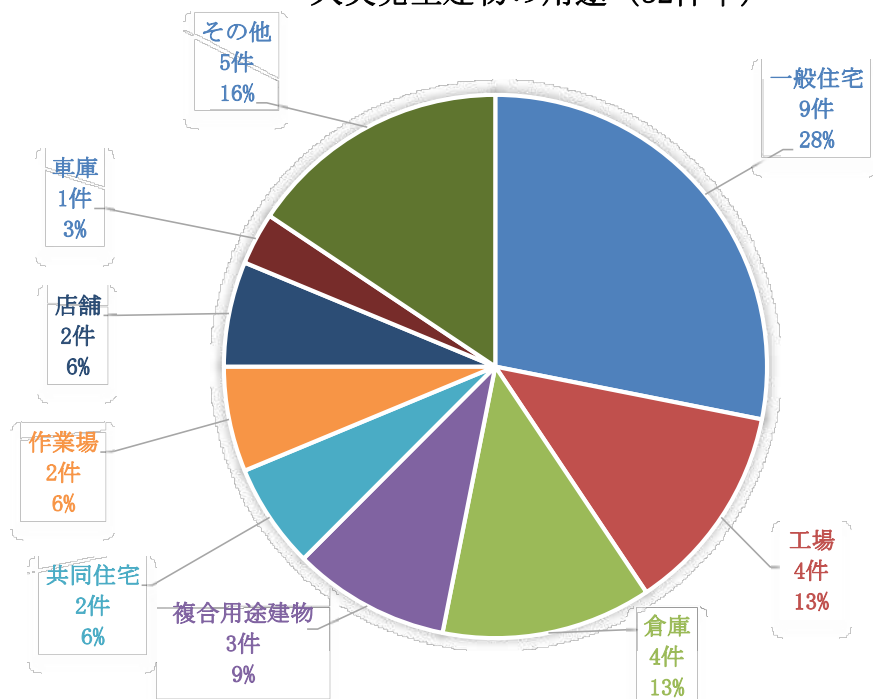
※ 全火災件数のうち、建物火災件数の占める割合
 令和6年 47.8%
 令和5年 56.3%

※ 建物火災件数のうち、住宅等における火災件数の占める割合
 令和6年 34.4%
 令和5年 44.4%

● 令和6年中の全火災件数は67件で、前年と比較して3件増加しました。
 前年に比べると、全火災件数のうち、建物火災件数の占める割合は8.5ポイント減少し、47.8%(全国56.5%)となっており、また、建物火災件数のうち、住宅等における火災件数の占める割合は10.0ポイント減少し、34.4%(全国39.4%)となっています。

● 非火災事案は、13件発生しています。
 非火災事案のうち、住宅等で発生した事案が3件です。
 全国的に住宅用火災警報器が設置されている場合は、設置されていない場合に比べ、大幅に被害を軽減しており、高い効果があります。

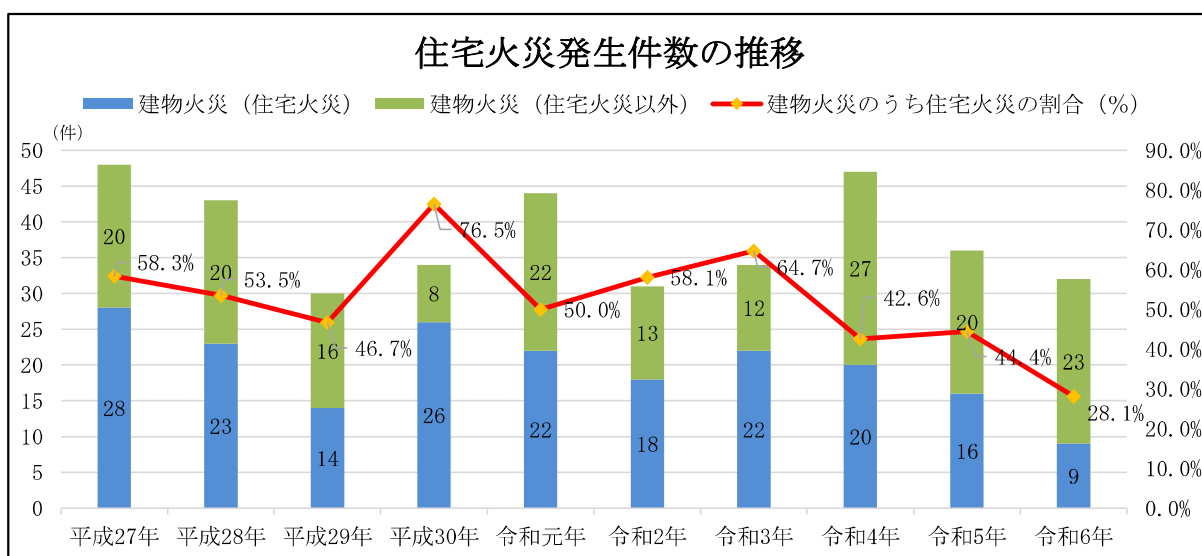
火災発生建物の用途（32件中）



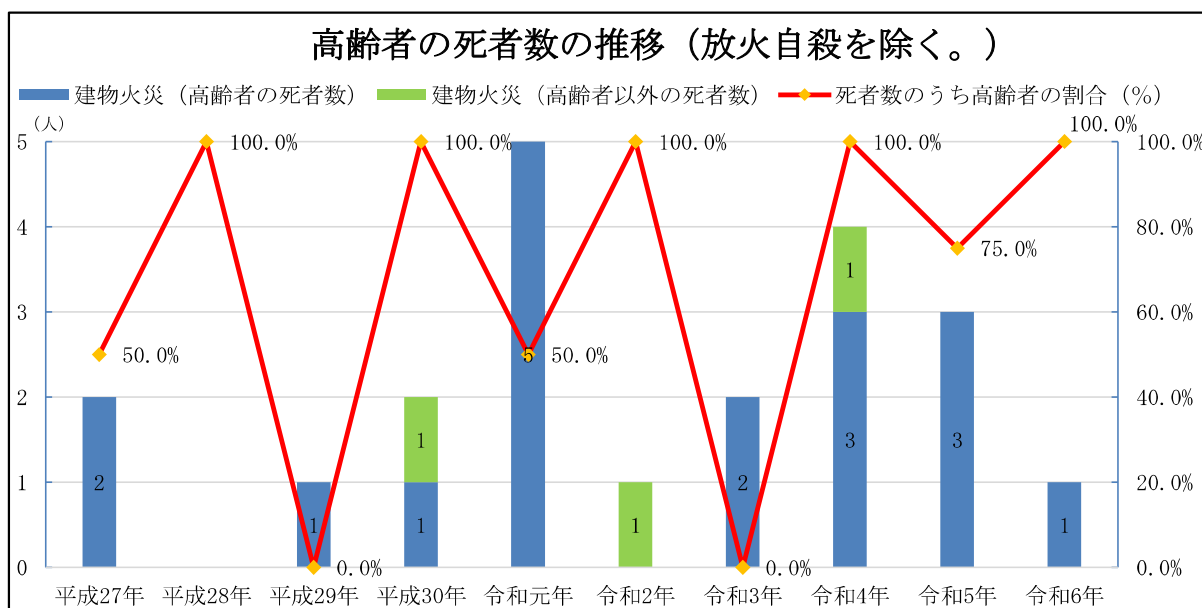
◎ 火災による死傷者

(各年中)

区 分	火 災 種 別						合計
	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	
令和6年死者数(人)	1	－	1	－	－	1	3
令和5年死者数(人)	5	－	－	－	－	1	6
増減	△ 4	－	1	－	－	－	△ 3
令和6年負傷者数(人)	5	－	－	－	－	2	7
令和5年負傷者数(人)	6	－	－	－	－	2	8
増減	△ 1	－	－	－	－	－	△ 1



※ 住宅火災とは、住宅、共同住宅及び併用住宅の件数を示しています。



◎ 署所別火災発生状況（件数及び損害額）

（令和6年中）

火災種別 署別		建 物 火 災		林 野 火 災		車 両 火 災		船 舶 火 災		その他の火災		合 計	
		件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額
西 消 防 署	本 署	5	3,353	-	-	1	68	-	-	2	-	8	3,421
	昭 和 分 署	6	64,893	-	-	-	-	-	-	2	-	8	64,893
	音 戸 分 署	-	-	1	-	-	-	-	-	4	116	5	116
	狩 留 賀 出 張 所	1	202	-	-	-	-	1	1	1	-	3	203
	南 出 張 所	1	852	-	-	-	-	-	-	2	-	3	852
	倉 橋 出 張 所	2	4,134	-	-	-	-	1	1	-	-	3	4,135
	小 計	15	73,434	1	-	1	68	2	2	11	116	30	73,620
東 消 防 署	本 署	6	6,453	-	-	-	-	-	-	3	2	9	6,455
	阿 賀 北 出 張 所	4	2,333	-	-	1	-	-	-	-	-	5	2,333
	仁 方 出 張 所	1	-	-	-	1	1	-	-	1	-	3	1
	郷 原 出 張 所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	川 尻 出 張 所	2	11	-	-	-	-	-	-	1	58	3	69
	蒲 刈 出 張 所	1	3,962	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3,962
	安 浦 出 張 所	3	2,470	1	-	1	225	-	-	9	1	14	2,696
	大 崎 下 島 出 張 所	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-
	小 計	17	15,229	1	-	3	226	-	-	16	61	37	15,516
合 計		32	88,663	2	-	4	294	2	2	27	177	67	89,136

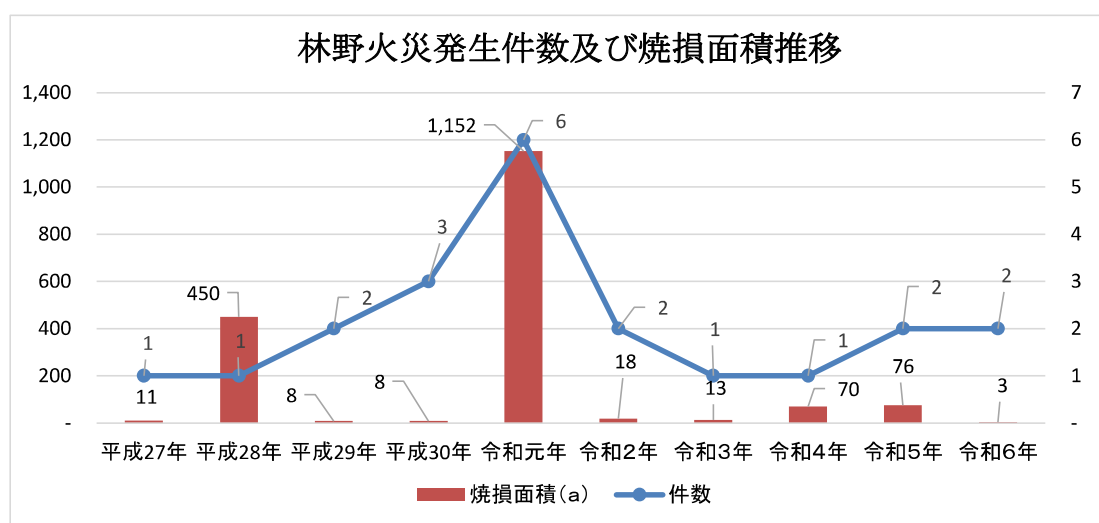
※ 損害額の単位は、「千円」としています。

◎ 林野火災発生状況

令和6年中に発生した林野火災は2件で、前年と同様となっています。
 焼損面積は3アールと、前年より73アール減少となっています。
 出火原因は、「たき火」となっています。

(各年中)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
件数	1	1	2	3	6	2	1	1	2	2
焼損面積 (a)	11	450	8	8	1,152	18	13	70	76	3



救 急

令和6年中の救急出動件数は12,114件で、搬送人員は10,360人となっています。これは、1日当たりの平均出動件数が33件で、管内の住民約19人に1人が搬送されたことになります。

事故種別ごとに見ると、出動件数が最も多いのが、急病の7,778件で全出動件数の約64%を占めています。

また、年齢別に見ると、65歳以上の高齢者の搬送人数が7,834人と、高齢者の方が最も多く、全搬送人員の約76%を占めています。

◎ 救急活動状況と前年比較

(各年中)

	令和5年	令和6年	増減
出動件数 (件)	12,083	12,114	31
搬送人員 (人)	10,080	10,360	280

(各年中)

		令和5年		令和6年		増 減		増 減 率(%)	
		出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員
		12,083	10,080	12,114	10,360	31	280	0.3%	2.8%
事 故 種 別	火 災	27	14	9	4	△ 18	△ 10	△66.7%	△71.4%
	自 然 災 害	—	—	—	—	—	—	—	—
	水 難	7	3	15	10	8	7	114.3%	233.3%
	交 通	595	457	607	503	12	46	2.0%	10.1%
	労働災害	88	85	97	91	9	6	10.2%	7.1%
	運動競技	48	44	65	59	17	15	35.4%	34.1%
	一般負傷	2,035	1,717	1,987	1,747	△ 48	30	-2.4%	1.7%
	加 害	33	21	29	18	△ 4	△ 3	-12.1%	-14.3%
	自損行為	63	42	67	43	4	1	6.3%	2.4%
	急 病	7,795	6,525	7,778	6,626	△ 17	101	-0.2%	1.5%
	そ の 他	1,392	1,172	1,460	1,259	68	87	4.9%	7.4%
不 搬 送		2,033		1,779		△ 254		-12.5%	

◎ 救急隊別出動状況

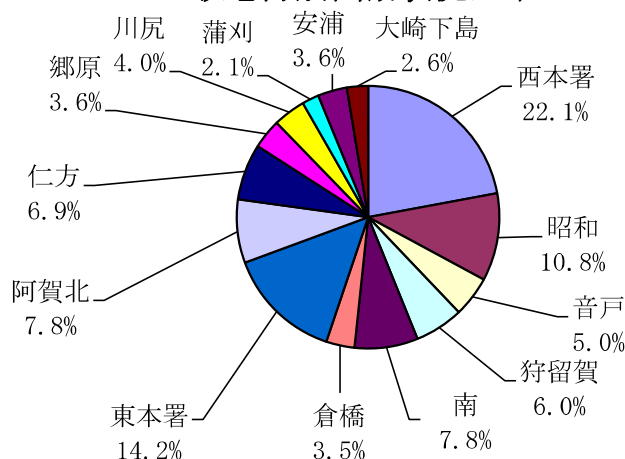
(令和6年中)

種別 隊別	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災害	運 動 競技	一 般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	転 院 搬送	医 師 搬送	そ の 他	計 (件)
西本署	2	—	4	131	10	14	449	4	12	1,580	402	5	60	2,673
昭和	1	—	—	55	7	2	209	1	6	937	76	—	16	1,310
音戸	—	—	3	17	5	1	93	—	3	427	42	—	13	604
狩留賀	—	—	2	46	5	1	135	—	2	510	19	—	6	726
南	2	—	1	53	9	6	158	3	4	575	119	—	15	945
倉橋	—	—	1	16	1	1	82	3	2	224	90	—	4	424
東本署	2	—	1	117	26	14	258	8	14	1,105	148	—	27	1,720
阿賀北	—	—	—	47	4	8	161	3	6	601	106	—	13	949
仁方	—	—	1	36	8	6	133	1	3	576	67	—	8	839
郷原	—	—	—	32	9	7	63	1	3	293	28	—	5	441
川尻	—	—	—	20	8	4	82	1	1	317	38	—	9	480
蒲刈	—	—	1	7	1	—	29	1	6	139	65	—	6	255
安浦	2	—	—	22	3	1	79	3	4	299	14	—	8	435
大崎下島	—	—	1	8	1	—	56	—	1	195	46	—	5	313
合 計	9	—	15	607	97	65	1,987	29	67	7,778	1,260	5	195	12,114

(令和6年中)

月別 隊別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計 (件)
西本署	222	215	209	206	201	212	260	262	199	213	215	259	2,673
昭和	123	108	111	94	91	109	116	131	101	98	93	135	1,310
音戸	56	45	42	46	35	36	61	73	46	51	49	64	604
狩留賀	45	71	53	37	60	63	80	67	49	52	64	85	726
南	82	80	70	77	64	71	90	102	68	68	70	103	945
倉橋	39	42	48	27	27	24	44	44	34	30	39	26	424
東本署	142	140	137	111	139	135	160	173	156	126	131	170	1,720
阿賀北	97	88	85	68	73	70	80	95	72	60	61	100	949
仁方	88	60	70	50	60	63	99	80	72	55	61	81	839
郷原	44	39	33	30	30	27	38	43	41	34	33	49	441
川尻	50	36	41	29	41	37	45	57	32	29	40	43	480
蒲刈	19	23	26	13	26	14	32	19	25	22	20	16	255
安浦	43	44	32	20	33	31	37	42	47	29	37	40	435
大崎下島	27	22	28	24	23	20	30	34	28	27	23	27	313
合 計	1,077	1,013	985	832	903	912	1,172	1,222	970	894	936	1,198	12,114

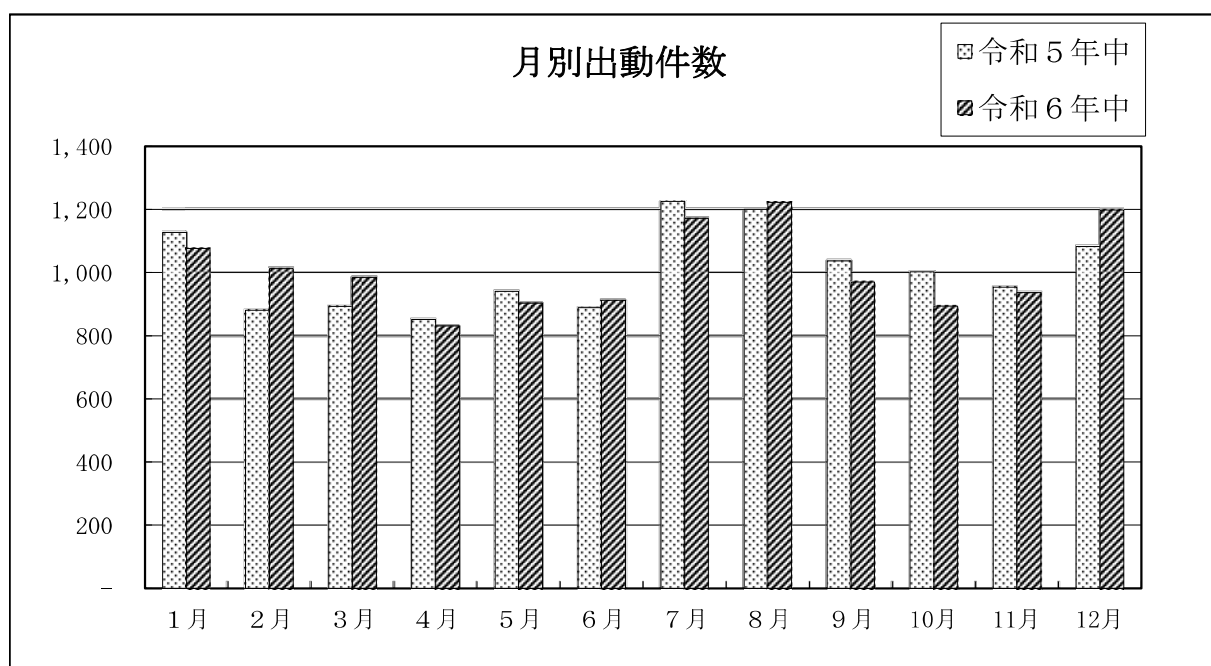
救急隊別出動状況比率



◎ 月別救急出動状況

(令和6年中)

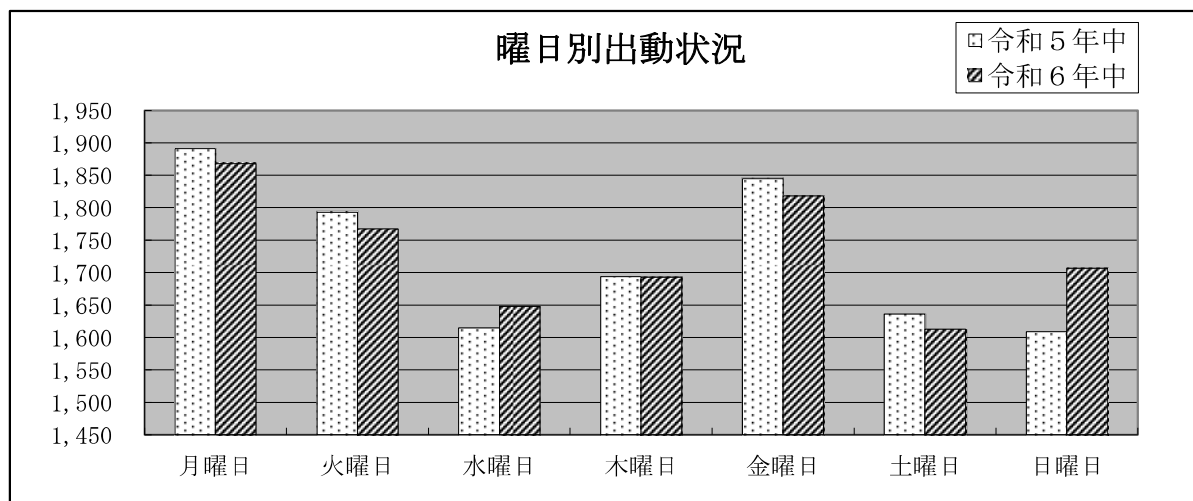
区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計 (件)
火 災	1	2	-	-	1	1	1	1	-	-	-	2	9
自然災害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
水 難	-	1	1	-	1	1	1	3	2	2	-	3	15
交 通	45	48	52	41	55	52	45	52	52	50	59	56	607
労働災害	5	1	4	3	6	7	21	18	13	7	7	5	97
運動競技	7	-	3	2	3	3	16	7	10	3	6	5	65
一般負傷	170	168	176	130	158	159	164	172	141	160	185	204	1,987
加 害	1	-	3	2	2	7	1	2	4	4	2	1	29
自損行為	3	6	6	2	2	3	10	8	6	11	2	8	67
急 病	720	667	608	546	556	568	779	828	646	535	546	779	7,778
転院搬送	103	98	108	95	102	98	115	113	81	107	117	123	1,260
医師搬送	-	-	-	-	2	1	2	-	-	-	-	-	5
資材搬送	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他	22	22	24	11	15	12	17	18	15	15	12	12	195
合 計	1,077	1,013	985	832	903	912	1,172	1,222	970	894	936	1,198	12,114



◎ 曜日別救急出動状況

(令和6年中)

区 分	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	計 (件)
火 災	4	2	1	1	—	—	1	9
自 然 災 害	—	—	—	—	—	—	—	—
水 難	2	2	2	2	3	1	3	15
交 通	92	88	98	85	105	69	70	607
労働災害	19	17	19	15	12	10	5	97
運動競技	6	3	5	8	8	19	16	65
一般負傷	273	281	247	276	279	294	337	1,987
加 害	6	3	2	2	2	9	5	29
自損行為	8	13	8	11	13	7	7	67
急 病	1,219	1,119	1,041	1,072	1,108	1,039	1,180	7,778
転院搬送	219	218	195	190	257	134	47	1,260
医師搬送	1	1	1	1	1	—	—	5
資材搬送	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	19	20	29	30	30	31	36	195
合 計	1,868	1,767	1,648	1,693	1,818	1,613	1,707	12,114

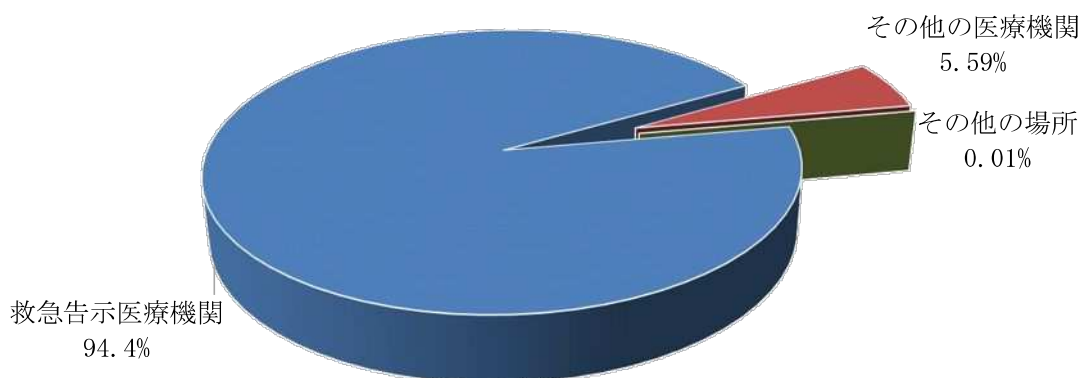


◎ 事故種別・医療機関別搬送状況

(令和6年中)

告示別	事故種別 医療機関別	急病		交通		一般負傷		左記以外の事故		計(件)	
			うち管外		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外
救急告示 医療機関 の関	国立	4,109	38	300	3	997	5	968	30	6,374	76
	公立	105	43	5	1	30	7	44	40	184	91
	公的	452	26	3	1	41	7	31	6	527	40
	私的病院	1,628	12	89	1	470	4	373	24	2,560	41
	私的診療所	25	2	25	-	66	-	19	-	135	2
	計	6,319	121	422	6	1,604	23	1,435	100	9,780	250
その他 医療機関 の関	国立	7	-	14	-	3	-	1	1	25	1
	公立	12	2	-	-	3	1	3	2	18	5
	公的	4	-	-	-	-	-	1	-	5	-
	私的病院	186	16	50	-	108	-	32	9	376	25
	私的診療所	98	1	17	-	28	-	12	1	155	2
	計	307	19	81	-	142	1	49	13	579	33
計	国立	4,116	38	314	3	1,000	5	969	31	6,399	77
	公立	117	45	5	1	33	8	47	42	202	96
	公的	456	26	3	1	41	7	32	6	532	40
	私的病院	1,814	28	139	1	578	4	405	33	2,936	66
	私的診療所	123	3	42	-	94	-	31	1	290	4
	計	6,626	140	503	6	1,746	24	1,484	113	10,359	283
その他の 場所	その他	-	-	-	-	1	1	-	-	1	1
	計	-	-	-	-	1	1	-	-	1	1
合計		6,626	140	503	6	1,747	25	1,484	113	10,360	284

医療機関別搬送状況比率



◎ 管内管外別搬送人員状況

(令和6年中)

区 分	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計 (件)
管内に住所を有する者	4	－	6	420	58	32	1,670	15	34	6,367	1,140	9,746
管外に住所を有する者	－	－	4	83	33	27	77	3	9	258	119	613
その他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	1
合 計	4	－	10	503	91	59	1,747	18	43	6,626	1,259	10,360

「管内に住所を有する者」とは、管内に住所を有している者をいいます。

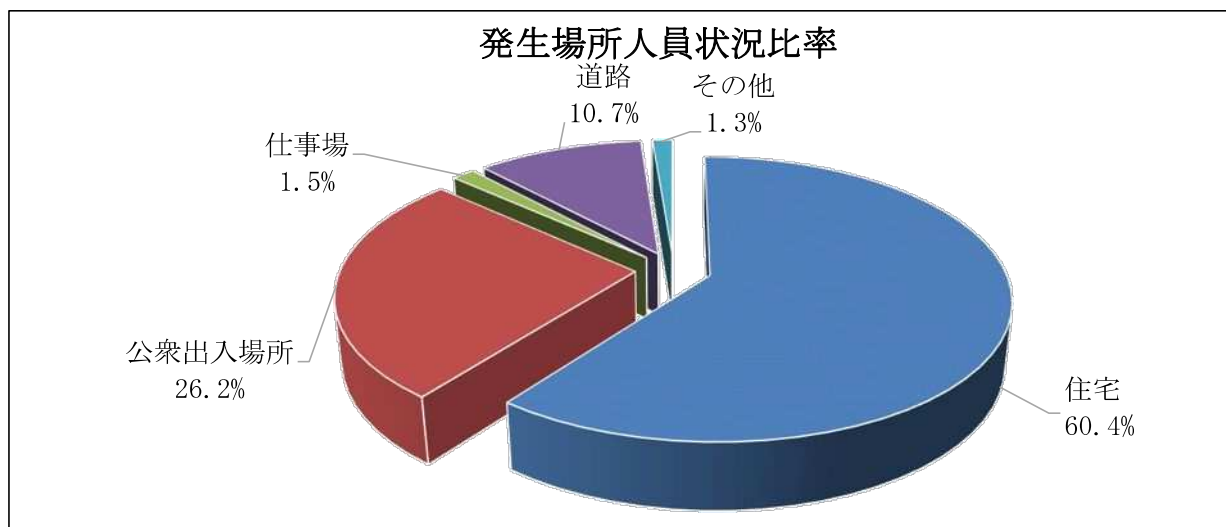
「管外に住所を有する者」とは、管内以外の国内に住所を有している者をいいます。

「その他」とは、外国人旅行者（外国人での日本に住所を有している者を除いた外国人）、住所が判明しない者等をいいます。

◎ 発生場所別状況

(令和6年中)

区 分	住 宅	公衆出入場所	仕 事 場	道 路	そ の 他	計 (件)
急 病	5,081	1,118	84	295	48	6,626
交 通	5	12	－	480	6	503
一 般 負 傷	1,120	249	7	316	55	1,747
上 記 以 外	53	1,335	60	14	22	1,484
合 計	6,259	2,714	151	1,105	131	10,360



◎ 現場到着所要時間状況（事故種別出動状況）

（令和6年中）

事故種別	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計（件）
急病	47	684	5,215	1,736	96	7,778
交通	8	73	390	129	7	607
一般負傷	15	181	1,297	460	34	1,987
その他	14	380	1,004	317	27	1,742
計	84	1,318	7,906	2,642	164	12,114

◎ 収容所要時間状況（事故種別搬送人員数）

（令和6年中）

事故種別	覚知時間から医療機関へ収容する時間						計（件）
	10分未満	10～20分未満	20～30分未満	30～60分未満	60～120分未満	120分以上	
急病	－	65	948	4,712	877	24	6,626
交通	－	2	64	361	72	4	503
一般負傷	－	8	231	1,214	287	7	1,747
その他	1	117	547	705	110	4	1,484
計	1	192	1,790	6,992	1,346	39	10,360

◎ 年齢別搬送状況

（令和6年中）

区分	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	計（件）
火災		－	－	3	1	4
自然災害	－	－	－	－	－	－
水難		－	1	4	5	10
交通		7	44	255	197	503
労働災害				76	15	91
運動競技			38	18	3	59
一般負傷		39	51	193	1,464	1,747
加害			2	11	5	18
自損行為			1	36	6	43
急病	1	155	117	1,249	5,104	6,626
その他	2	16	10	197	1,034	1,259
計	3	217	264	2,042	7,834	10,360
割合	0.03%	2.09%	2.55%	19.71%	75.62%	100%

◎ 救急隊員による応急処置実施状況

(令和6年中)

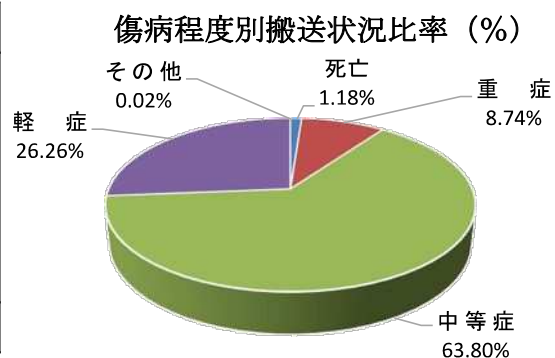
事故種別 応急処置	急病	交通	一般負傷	左記以外 の事故	計(件)
対象人員	6,626	503	1,747	1,484	10,360
止血	2	2	11	4	19
固定	19	186	150	32	387
人工呼吸	40	2	2	6	50
心臓マッサージ	－	－	－	－	－
心肺蘇生	223	1	13	25	262
酸素吸入	1,633	56	90	427	2,206
気道確保	278	4	23	31	336
※(器具を用いた気道確保)	(89)	－	(11)	(11)	(111)
保温	66	2	8	8	84
被覆	42	114	365	46	567
在宅治療継続	39	－	4	2	45
ショックパンツ	－	－	－	－	－
その他の応急処置	6,617	496	1,741	1,469	10,323
血圧測定	6,365	500	1,715	1,446	10,026
聴診器での聴取	3,758	297	515	596	5,166
血中酸素濃度測定	6,437	504	1,726	1,457	10,124
心電図	4,618	110	468	676	5,872
※血糖値測定	36	－	－	－	36
※除細動	28	－	－	5	33
※輸液	237	6	11	14	268
※薬剤投与	72	－	1	5	78
合計	30,510	2,280	6,843	6,249	45,882

※印にあつては、救急救命士が行った救急救命処置、()は内数

◎ 傷病程度別搬送状況

(令和6年中)

傷病程度	搬送人員	比率(%)
死亡	122	1.18
重症	905	8.74
中等症	6,610	63.80
軽症	2,721	26.26
その他	2	0.02
合計	10,360	100



◎ 過去5年間の救急活動状況

(各年中)

区 分	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
出 動 件 数	9,865	10,339	11,544	12,083	12,114
搬 送 人 員	8,713	9,138	9,794	10,080	10,360
不 搬 送 件 数	1,188	1,227	1,774	2,033	1,779
1 隊 当 た り の 出 動 件 数	705	739	825	863	865
1 隊 当 た り の 搬 送 人 員	622	653	700	720	740
1 日 当 た り の 出 動 件 数	27	28	32	33	33

◎ 普及啓発活動実施結果

(令和6年中)

対象者	実施月	応急救護講習		救命入門コース		普通救命講習		普及・指導員講習		小計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
地域住民	1～3月	3	62	0	0	0	0	0	0	3	62
	4～6月	6	623	0	0	0	0	0	0	6	623
	7～9月	7	213	0	0	0	0	0	0	7	213
	10～12月	14	531	0	0	0	0	0	0	14	531
事業所の従業員	1～3月	13	318	0	0	2	11	0	0	15	329
	4～6月	12	291	0	0	4	35	0	0	16	326
	7～9月	6	64	0	0	6	66	0	0	12	130
	10～12月	16	296	0	0	4	58	0	0	20	354
学校関係者 (児童生徒を含む)	1～3月	4	246	0	0	0	0	0	0	4	246
	4～6月	37	737	0	0	2	58	0	0	39	795
	7～9月	24	257	4	272	2	54	0	0	30	583
	10～12月	5	37	4	529	1	52	0	0	10	618
その他	1～3月	2	55	0	0	5	48	0	0	7	103
	4～6月	15	494	0	0	7	68	0	0	22	562
	7～9月	16	761	0	0	9	177	0	0	25	938
	10～12月	7	109	0	0	8	110	1	1	16	220
合計		187	5,094	8	801	50	737	1	1	246	6,633

※応急救護講習は、講習時間3時間未満の講習で修了証を発行しない講習をいう。

※救命入門コースは、講習時間45分又は90分の講習で参加証を発行する講習をいう。

※普通救命講習は、講習時間3時間、4時間又は8時間の講習で修了証を発行する講習をいう。

◎ 普及啓発活動実施状況

(各年中)

年	応急救護講習		普通救命講習		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数
令和2年	87	2,224	63	1,801	150	4,025
令和3年	65	1,537	36	1,139	101	2,676
令和4年	100	2,718	41	953	141	3,671
令和5年	165	5,170	54	1,221	219	6,391
令和6年	187	5,094	58	1,538	245	6,632

※救命入門コース及び上級救命講習は普通救命講習に含む。

救急隊支援

呉市消防局では、平成10年から救急隊支援を実施しています。これは、呉市の地形を考慮し、高地部や急傾斜地で発生した傷病者を安全かつ迅速に搬送するほか、狭い階段や通路、その他交通量の多い道路における交通事故の現場などで、消防隊が出動して救急隊の処置や搬送を支援するものです。

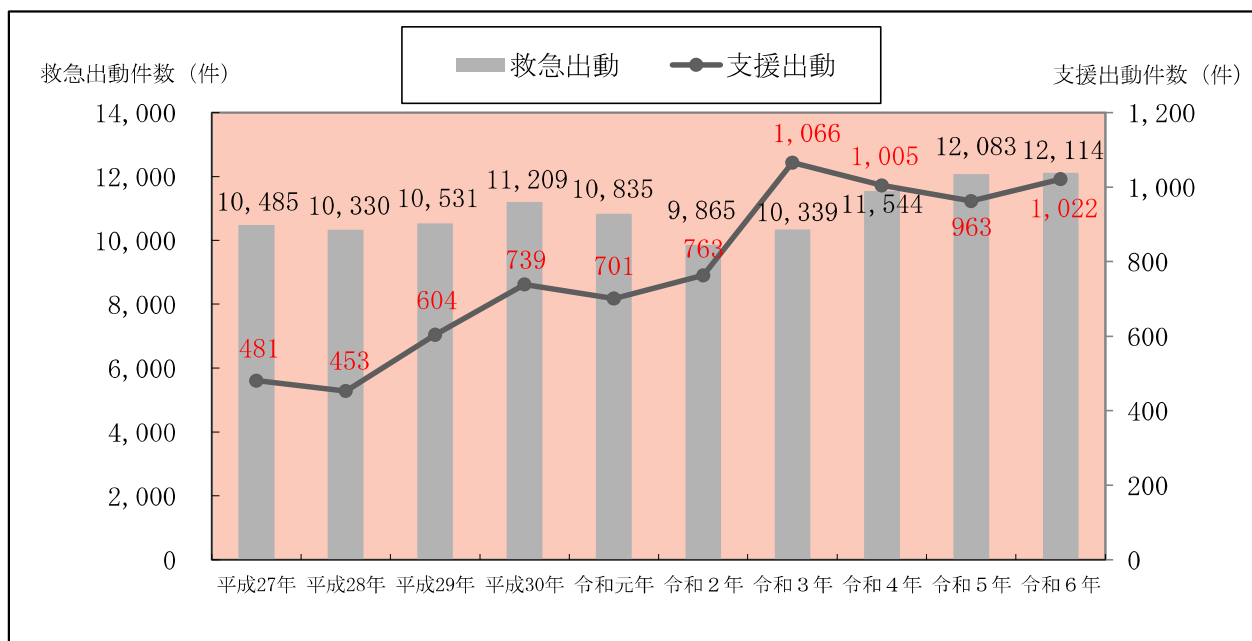
また、119番通報時に心肺停止の患者であることが疑われ、救急隊の到着が遅延すると思われる場合などにも直近の消防隊が出動し、救急隊が到着するまでの間、胸骨圧迫等の救命処置を行っています。

◎ 救急隊支援出動状況

(各年中)

	高地部	人的支援	安全管理	救急救命	その他	合 計	救急出動件数	出動割合
令和2年	68	106	86	18	485	763	9,865 件	7.7%
令和3年	154	121	144	33	614	1,066	10,339 件	10.3%
令和4年	115	105	114	37	634	1,005	11,544 件	8.7%
令和5年	104	156	83	38	582	963	12,083 件	8.0%
令和6年	133	88	116	31	685	1,053	12,114 件	8.7%

◎ 救急出動・支援出動件数の推移



救 助

呉市消防局の救助体制は、局（警防課）に高度救助隊、東消防署に特別救助隊、音戸分署に救助隊を各1隊配置し、潜水士や酸素欠乏作業主任者等の資格を有する救助隊員43名をもって編成しています。

装備については、化学災害や放射線災害など様々な災害に対応するため、化学防護服及び放射線防護服などの保護服や、倒壊建物内の生存者を発見するための画像探索機及び熱画像直視装置などの高度な救助資機材を積載した救助工作車を2台、油圧救助資機材等を積載した機材搬送車1台、計3台を配備しています。

令和6年中の救助出動件数（救急隊支援、ヘリコプター支援及び救急救命を除く。）は、58件で32名を事故現場から救助しています。

事故種別は、「交通事故」が21件で第1位、「水難事故」が14件で第2位となっています。

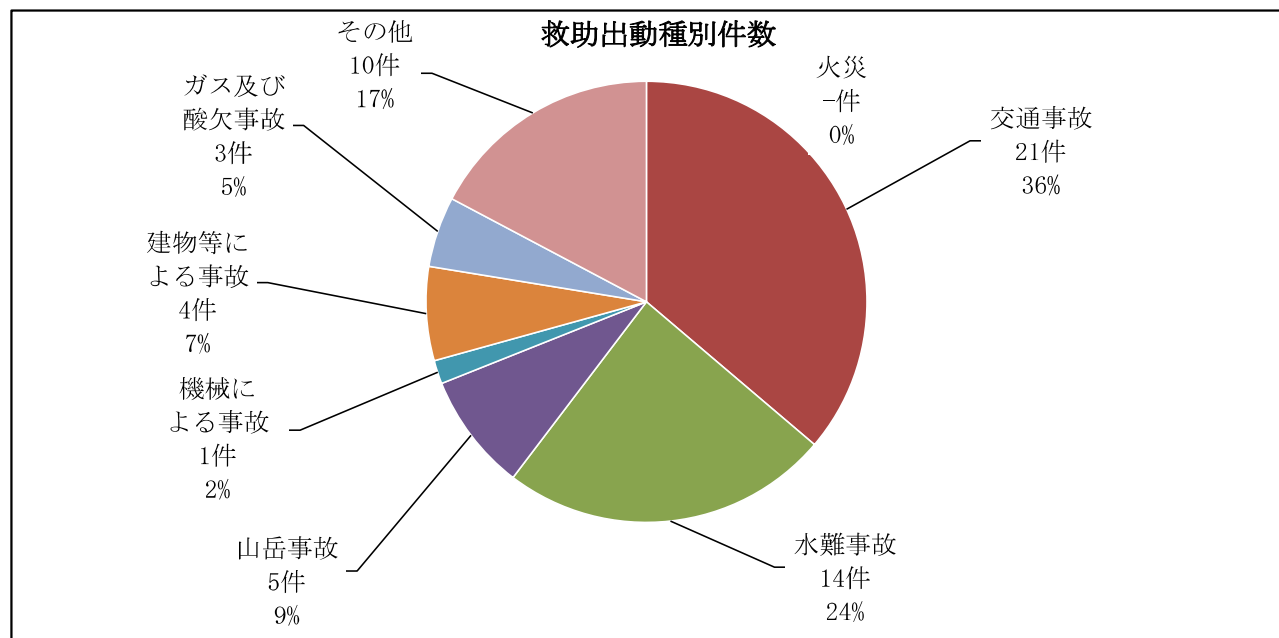
◎ 過去5年間の救助出動件数及び活動状況

		(各年中)				
種 別	区 分	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
総 計	出 動 件 数	56	54	58	49	58
	活 動 件 数	36	34	41	38	30
	救 助 人 員	31	37	47	46	32
火 災	出 動 件 数	－	1	2	4	－
	活 動 件 数	－	1	2	4	－
	救 助 人 員	－	1	2	7	－
交 通 事 故	出 動 件 数	23	26	26	18	21
	活 動 件 数	11	16	17	13	7
	救 助 人 員	12	19	22	17	9
水 難 事 故	出 動 件 数	11	10	13	7	14
	活 動 件 数	7	6	7	5	7
	救 助 人 員	5	6	8	6	9
山 岳 事 故	出 動 件 数	1	1	3	6	5
	活 動 件 数	1	1	3	6	4
	救 助 人 員	1	1	3	6	3
風 水 害 等 害 自 然 災 害	出 動 件 数	－	－	－	－	－
	活 動 件 数	－	－	－	－	－
	救 助 人 員	－	－	－	－	－
機 械 に よ る 事 故	出 動 件 数	3	1	－	1	1
	活 動 件 数	2	1	－	1	－
	救 助 人 員	2	1	－	1	－
建 物 等 に よ る 事 故	出 動 件 数	－	2	1	1	4
	活 動 件 数	－	1	1	1	3
	救 助 人 員	－	1	1	1	3
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	出 動 件 数	2	1	－	－	3
	活 動 件 数	2	－	－	－	2
	救 助 人 員	3	－	－	－	2
破 裂 事 故	出 動 件 数	－	－	－	－	－
	活 動 件 数	－	－	－	－	－
	救 助 人 員	－	－	－	－	－
その他の事故	出 動 件 数	16	12	13	12	10
	活 動 件 数	13	8	11	8	7
	救 助 人 員	8	8	11	8	6

◎ 救助出動状況

(令和6年中)

種 別	火災	交通事故	水難事故	山岳事故	風水害等 自然災害	機械に よる事故	建物等 による事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他	合 計
件 数	-	21	14	5	-	1	4	3	-	10	58



◎ その他の災害出動状況（過去５年間）

（各年中）

種 別 出 動		誤 報	虚 報	警 戒	非 火 災	ヘリ コプ ター 支 援	そ の 他	合 計
令和 2年	出 動 回 数	25	3	68	17	63	17	193
	出 動 台 数	138	16	79	81	65	47	426
	出 動 人 員	429	47	249	243	209	151	1,328
令和 3年	出 動 回 数	53	1	52	15	61	26	208
	出 動 台 数	323	8	69	51	62	105	618
	出 動 人 員	951	23	212	139	200	335	1,860
令和 4年	出 動 回 数	50	2	61	18	58	23	212
	出 動 台 数	247	17	66	86	61	80	557
	出 動 人 員	738	50	212	236	196	254	1,686
令和 5年	出 動 回 数	45	－	77	18	72	17	229
	出 動 台 数	283	－	89	67	73	68	580
	出 動 人 員	836	－	274	197	247	208	1,762
令和 6年	出 動 回 数	38	1	67	13	56	21	196
	出 動 台 数	276	1	79	50	57	79	542
	出 動 人 員	802	3	257	144	192	251	1,649

消 防 水 利

令和7年3月31日現在

種 別 管 内 別		合 計	消 火 栓		防 火 水 槽				プ ル	河 川	溝	濠	池	海	井 戸	そ の 他
			公 設	私 設	公 設		私 設									
					40 ト ン 以 上	40 ト ン 未 満	40 ト ン 以 上	40 ト ン 未 満								
合 計		6,653	5,240	398	420	60	171	49	49	10	-	-	3	46	-	207
西 消 防 署 管 内	小 計	3,474	2,821	266	150	24	108	26	29	7	-	-	3	38	-	2
	本 署	1,046	899	49	33	3	39	7	10	-	-	-	2	2	-	2
	昭 和 分 署	672	570	5	67	1	16	1	5	7	-	-	-	-	-	-
	音 戸 分 署	403	378	-	8	6	1	-	5	-	-	-	-	5	-	-
	狩 留 賀 出 張 所	538	376	107	15	2	24	5	4	-	-	-	-	5	-	-
	南 出 張 所	473	296	105	11	3	28	13	4	-	-	-	1	12	-	-
	倉 橋 出 張 所	342	302	-	16	9	-	-	1	-	-	-	-	14	-	-
東 消 防 署 管 内	小 計	3,179	2,419	132	270	36	63	23	20	3	-	-	-	8	-	205
	本 署	918	733	83	36	4	34	17	6	1	-	-	-	2	-	2
	阿 賀 北 出 張 所	363	326	8	11	1	7	2	6	-	-	-	-	1	-	1
	仁 方 出 張 所	183	172	-	5	-	3	-	1	1	-	-	-	1	-	-
	郷 原 出 張 所	168	136	6	16	-	8	-	1	1	-	-	-	-	-	-
	川 尻 出 張 所	285	214	11	46	1	5	-	2	-	-	-	-	4	-	2
	安 浦 出 張 所	438	352	24	24	25	6	4	3	-	-	-	-	-	-	-
	蒲 刈 出 張 所	269	218	-	43	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	6
	大崎下島出張所	555	268	-	89	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	194

消 防 機 械

消防力の諸要素のうちで、消防機械と装備は重要な位置付けがされており、都市消防においては各種の災害に適応する消防機械の充実強化が期されているところです。

当局においても、災害の複雑多様化に対処するため、消防機械の充実に努め、科学消防力の強化を図っています。

◎ 主な消防車両等

令和7年3月31日現在																						
車両種別 合 計	消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	化学消防ポンプ自動車	はしご付消防自動車	屈折はしご付消防自動車	小型動力ポンプ付積載車	救急自動車	救助工作車		指令車	署長指揮車	指揮調査車	原因調査車	予防指導車	防災指導車	輸送車	広報車	機材搬送車	人員輸送車・多目的車	救急艇	※拠点機能形成車	
			Ⅱ型	30 m	35 m	高規格	Ⅱ型	Ⅲ型														
74	21	2	2	1	1	6	17	1	1	1	2	2	1	2	1	2	1	5	3	1	1	

※ 消防組織法第50条の規定に基づく国有財産等の無償使用として配備

◎ 主な機械器具

令和7年3月31日現在																
可搬ウインチ	ガス溶断機	大型油圧救助器具	送排風機	空気呼吸器	酸素呼吸器	発電機	エンジンカッター	陽圧式化学防護服	化学防護服	熱画像直視装置	夜間暗視装置	地中音響探知機	画像探索機Ⅰ型	画像探索機Ⅱ型	地震警報器	電磁波探査装置
6	3	4	5	124	11	39	12	15	116	8	1	1	1	2	1	1

マット式空気ジャッキ	マンホール救助器具	救命ボート	自給式潜水器具	耐熱服	耐電衣	放射線防護服	放射線測定器	ガス測定器	エアソー	削岩機	電動ハンマー	救命索発射銃	除染テント	レシプロソー	チェンソー
3	4	5	20	10	10	4	64	13	1	3	5	3	3	5	27

●高機能消防指令センター

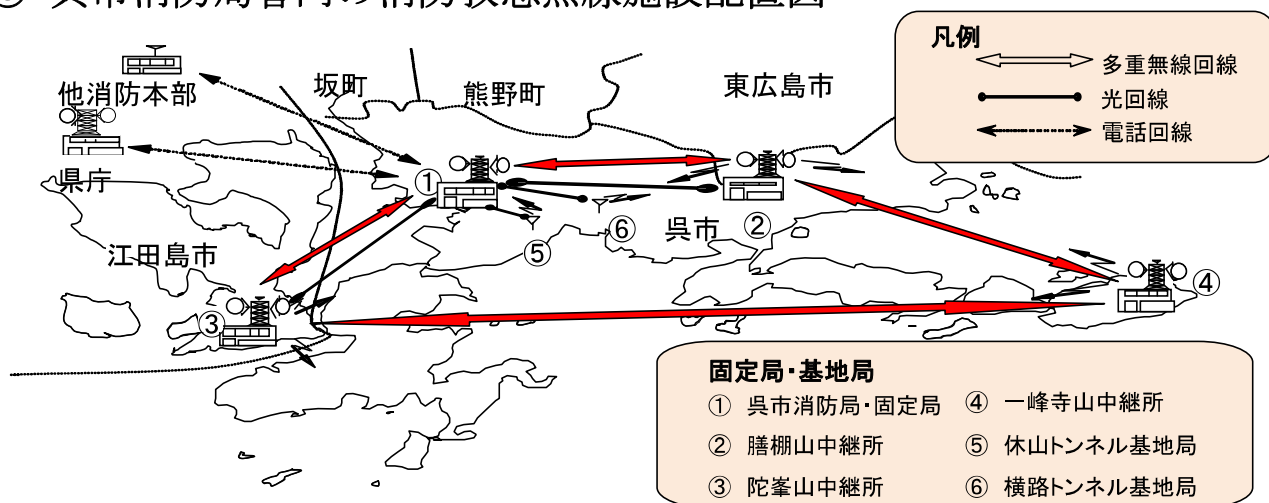
呉市消防局の高機能消防指令センターは、令和2年3月呉市消防局・西消防署新庁舎移転と同時に運用を開始しています。

この指令センターの機能として、音声による通報が困難な方や外国人の方が安心して円滑に緊急通報を行うための「ネット119緊急通報システム」，「多言語電話通訳サービス」のほか、災害現場の映像を指令センターで確認し、迅速な情報共有が可能となる「映像通報システム」，「画像伝送システム」を運用しています。災害の複雑化や大規模災害、救急需要の増加への対応が、これまで以上に的確に行える最新技術を搭載し、円滑な通報と迅速な対応を可能にしています。

●消防救急無線

災害時の情報通信の要となる消防救急無線は、平成28年3月からデジタル方式による運用を開始しています。現在は呉市消防局から「膳棚山中継所」，「陀峯山中継所」，「一峰寺山中継所」の各中継所や，「休山トンネル基地局」，「横路トンネル基地局」の各トンネル基地局を使用して、円滑な運用が実現されています。また、消防隊や救急隊に配備された携帯無線機や車載無線機についてもデジタル方式に更新することで、より精度の高い無線交信が実現し、消防救急活動体制の強化が図られています。

◎ 呉市消防局管内の消防救急無線施設配置図



◎ 災害等受信総件数（令和6年中）

通報種別 災害種別	固定電話119	IP電話119	携帯電話 119	その他の 通報 ※	合計
火災	25	6	52	8	91
救助	16	4	26	12	58
救急	2,321	2,787	5,831	536	11,475
その他の災害	249	160	626	211	1,246
同報	161	63	437	4	665
まちがい	192	55	673	124	1,044
いたずら	37	—	27	—	64
問い合わせ	209	124	609	4	946
その他・訓練	396	323	279	92	1,090
合計	3,606	3,522	8,560	991	16,679

※ その他の通報：登録制通報装置、加入電話、自己覚知等による受信

◎ 119番受信状況

(各年中)

年 別	区 分	受信 回数	災 害					そ の 他				
			小 計	火 災	救 急	そ の 他 (救助含む)	同 報	小 計	問 い 合 わ せ	ま ち が い	い た ず ら	訓 練 そ の 他
令和 2年	固定電話等	5,656	4,178	27	3,446	537	168	1,478	240	559	11	668
	携帯電話	5,887	4,646	37	3,965	381	263	1,241	390	485	24	342
	I P 電話	2,519	2,124	12	1,979	78	55	395	79	63	2	251
	合計	14,062	10,948	76	9,390	996	486	3,114	709	1,107	37	1,261
	1日平均	38.5	30.0	0.2	25.7	2.7	1.3	8.5	1.9	3.0	0.1	3.5
令和 3年	固定電話等	5,125	3,962	43	3,211	555	153	1,163	179	349	12	623
	携帯電話	6,474	5,172	40	4,237	612	283	1,302	390	505	19	388
	I P 電話	2,786	2,381	5	2,195	134	47	405	75	48	1	281
	合計	14,385	11,515	88	9,643	1,301	483	2,870	644	902	32	1,292
	1日平均	39.4	31.5	0.2	26.4	3.6	1.3	7.9	1.8	2.5	0.1	3.5
令和 4年	固定電話等	5,213	4,007	36	3,301	495	175	1,206	213	325	10	658
	携帯電話	7,804	6,265	59	5,144	602	460	1,539	543	547	10	439
	I P 電話	3,109	2,640	18	2,408	147	67	469	84	65	5	315
	合計	16,126	12,912	113	10,853	1,244	702	3,214	840	937	25	1,412
	1日平均	44.2	35.4	0.3	29.7	3.4	1.9	8.8	2.3	2.6	0.1	3.9
令和 5年	固定電話等	4,636	3,560	41	2,873	457	189	1,076	196	223	7	650
	携帯電話	8,999	6,932	45	5,803	574	510	2,067	630	1,034	48	355
	I P 電話	3,664	3,100	11	2,802	189	98	564	121	63	50	330
	合計	17,299	13,592	97	11,478	1,220	797	3,707	947	1,320	105	1,335
	1日平均	47.4	37.2	0.3	31.4	3.3	2.2	10.2	2.6	3.6	0.3	3.7
令和 6年	固定電話等	4,597	3,543	33	2,857	488	165	1,054	213	316	37	488
	携帯電話	8,560	6,972	52	5,831	652	437	1,588	609	673	27	279
	I P 電話	3,522	3,020	6	2,787	164	63	502	124	55	-	323
	合計	16,679	13,535	91	11,475	1,304	665	3,144	946	1,044	64	1,090
	1日平均	45.7	37.1	0.2	31.4	3.6	1.8	8.6	2.6	2.9	0.2	3.0

※災害欄のその他の件数は、火災、救急以外の災害件数（救助含む。）

※固定電話等は、携帯電話及びI P 電話以外の通報区分全てを含む。（緊急通報装置、加入電話等）

※1日平均は、少数第二位を四捨五入した数値を記入。

◎ 登録制通報システム受信状況

(各年中)

年 別 \ 項 目	緊急通報装置	F A X 1 1 9	メール 1 1 9	N E T 1 1 9
令和 2 年	72	－	－	2
令和 3 年	105	1	1	2
令和 4 年	202(74)	1(1)	3(3)	1(0)
令和 5 年	181(76)	1(1)	－	3(2)
令和 6 年	269(73)	1(1)	1(1)	－

- 令和 3 年以前の数値は、出動件数のみを表しています。
- 令和 4 年以降の数値は、通報受信件数を表し、括弧内は出動件数を表しています。
- 訓練等で受信した件数は含まれていません。

◎ 映像通報システム利用状況

(各年中)

年別	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
利用回数	－	58	76	79	68

- 令和 3 年 6 月 1 日運用開始
- 利用回数には位置情報の取得のみに利用した回数も含めています。
- 訓練等で利用した件数は含まれていません。

◎ 多言語電話通訳サービス利用状況

(各年中)

年別	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
利用回数	3	4	7	11	4

- 令和 2 年 5 月 1 日運用開始
- 英語・中国語・ベトナム語・タガログ語等 3 2 言語に対応しています。
- 2 4 時間 3 6 5 日対応可能です。

◎ 出動指令状況

(各年中)

区分 \ 年別	火災	救助	警戒	その他	救急隊支援	ヘリ支援	救急救命	救 急	合 計
令和 2 年	76	55	83	8	382	64	404	9, 390	10, 462
令和 3 年	88	54	79	18	503	61	586	9, 643	11, 032
令和 4 年	113	56	92	12	404	60	620	10, 853	12, 210
令和 5 年	97	39	108	10	459	72	532	11, 478	12, 795
令和 6 年	91	58	87	12	468	57	622	11, 475	12, 870

◎ 通信指令施設の現況

令和7年3月31日現在

区 分					消 防 局	西 消 防 署						東 消 防 署							
						本 署	昭 和 分 署	音 戸 分 署	狩 留 賀 出 張 所	南 出 張 所	倉 橋 出 張 所	本 署	阿 賀 北 出 張 所	仁 方 出 張 所	郷 原 出 張 所	川 尻 出 張 所	安 浦 出 張 所	蒲 刈 出 張 所	大 崎 下 島 出 張 所
通信施設別実装量																			
有線通信指令施設	消 防 緊 急 通 信 指 令 施 設	119番受信回線	16	20	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		衛星携帯電話受信回線	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		携帯119番転送回線	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		指令伝送回路	14	20	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		一般加入電話回線	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		専用電話回線	3	6	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		有無線接続回線	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		録音回路	48	48	48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		車両運用表示盤	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		支援情報表示盤	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		多目的情報表示盤	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		関係機関連絡用 順次指令回線	2	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		署用車両運用表示盤	3	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
		統合型位置情報 通知装置	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
携 帯 電 話			42	-	10	7	2	2	2	2	2	6	1	1	1	1	2	2	1
緊 急 通 報 装 置			1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
言語障害聴覚障害者用ファックス			1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
メール119番通報システム			1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ネット119緊急通報システム			1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
県 防 災 フ ァ ッ ク ス			1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
災害案内用テレホンガイド回線			20	20	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無線通信施設		固 定 局	4	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		基 地 局	5	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	陸上移動局	車載無線機(10w)	75	-	6	13	4	6	3	3	3	16	3	2	2	3	4	3	4
		携帯無線機(10w)	4	-	1	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
		携帯無線機(5w)	100	-	33	16	4	4	3	3	3	18	2	2	2	2	3	3	2
		携帯無線機(1w)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無 線 従 事 者			第1級陸上特殊無線技術士 26名																
			第2級陸上特殊無線技術士 113名																
			第3級陸上特殊無線技術士 3名																

消防団

消 防 団

本市の消防団は、昭和２２年４月の消防団令公布と同時に団員定数１，４１３名で発足。昭和２３年３月７日には改めて自治体消防の機関となりました。その後、幾多の組織改革を行い、昭和３１年１０月には天応町・昭和村・郷原村と合併、平成１５年４月１日に下蒲刈町と、平成１６年４月１日に川尻町と、平成１７年３月２０日には音戸町・倉橋町・蒲刈町・安浦町・豊浜町・豊町と合併、平成２１年４月１日に分団再編が完了し、１本部、５方面隊、３７分団となりました。平成３１年４月１日に川尻西・東分団が統合し３６分団、令和５年４月１日に蒲刈向・中央・大浦分団が統合し、現在の消防団組織となっています。

◎ 消防団の組織と人員等

１本部、５方面隊、１３地区隊、３４分団

令和７年４月１日現在

方面隊	地区隊（分団名）	基本団員（人）	機能別団員（人）	装備（台）	
				小型動力ポンプ 付積載車	指揮車他
	呉市消防団本部	31	—	—	4
呉	呉東（大和，本通分団）	113	2	8	—
	呉中央（中央，湾岸分団）	84	1	6	—
	呉北（昭和，天応分団）	99	—	6	—
広	広西（阿賀，大冠，広西，広北，郷原分団）	151	6	13	—
	広東（広中央，広東，広南，仁方分団）	136	—	13	—
安芸	下蒲刈（下蒲刈分団）	62	—	6	—
	蒲刈（蒲刈分団）	76	3	7	—
	豊浜（豊浜分団）	62	—	7	—
	豊（豊分団）	113	—	9	—
安川	川尻（川尻分団）	60	1	8	—
	安浦（安浦三津口，安浦内海，安浦野路， 安浦北，安浦安登分団）	179	2	14	—
音倉	音戸（瀬戸，音戸東，波多見，音戸南，音戸西分団）	219	4	19	—
	倉橋（倉橋西，倉橋北，倉橋東，倉橋南分団）	198	5	18	—
小 計		1,583	24	134	4
合 計			1,607		138

◎ 消防団員の年齢構成

令和7年4月1日現在

階級別 年齢別	計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
合計	1,607 (45)	1	14	38 (1)	58 (1)	270 (3)	415 (3)	811 (37)
18～20歳	5 (1)	—	—	—	—	—	—	5 (1)
21～25歳	28	—	—	—	—	—	—	28
26～30歳	52 (5)	—	—	—	—	—	2	50 (5)
31～35歳	87 (7)	—	—	—	—	3	10	74 (7)
36～40歳	119 (3)	—	—	—	—	4	23	92 (3)
41～45歳	208 (7)	—	—	—	—	5 (2)	58	145 (5)
46～50歳	228 (7)	—	—	—	—	34 (1)	80	114 (6)
51～55歳	304 (7)	—	—	—	6	67	105 (1)	126 (6)
56～60歳	226 (3)	—	5	4	11	66	57 (1)	83 (2)
61歳以上	350 (5)	1	9	34 (1)	41 (1)	91	80 (1)	94 (2)

()は女性団員で内数

(平均年齢 50.7歳)

◎ 消防団員の勤続年数

令和7年4月1日現在

区 分	団員数	構成率
5年未満	191 (22)	11.9%
5年以上10年未満	243 (13)	15.1%
10年以上15年未満	267 (5)	16.6%
15年以上20年未満	234 (2)	14.6%
20年以上25年未満	192 (2)	11.9%
25年以上30年未満	198 (1)	12.3%
30年以上	282	17.5%
計	1,607 (45)	

()は女性団員で内数

◎消防団担当区域

方面	地区	分団名	管 轄 区 域
呉	呉 東	大和	宮原支所所管区域、警固屋支所所管区域
		本通	三和町、清水１～３丁目、八幡町、本通１～８丁目、中通１～４丁目、幸町、本町、和庄登町、和庄本町、和庄１・２丁目、寺本町、溝路町、長迫町、上長迫町、東鹿田町、西鹿田１・２丁目、東畑１・２丁目、西畑町、上畑町、吾妻１・２丁目、平原町、上平原町
	呉 中 央	中央	西谷町、上山田町、下山田町、伏原１～３丁目、長ノ木町、東中央１～４丁目、朝日町、南辰川町、東辰川町、西辰川１・２丁目、畝原町、東惣付町、西惣付町、望地町、内神町、上内神町、中央３～７丁目、東片山町、西片山町、西中央３～５丁目、江原町、郷町、二河町、上二河町
		湾岸	中央１・２丁目、西中央１・２丁目、山手１・２丁目、東三津田町、西三津田町、三条１～４丁目、東愛宕町、西愛宕町、宝町、二河峽町、両城１・２丁目、海岸１～４丁目、東川原石町、西川原石町、北塩屋町、東塩屋町、西塩屋町、新宮町、築地町、光町、吉浦支所所管区域（弥生町、汐見町、梅木町、大山町、長谷町を除く。）
	呉 北	昭和	昭和支所所管区域
		天応	天応支所所管区域、吉浦支所所管区域のうち湾岸分団の管轄区域を除く区域
広	広 西	阿賀	阿賀支所所管区域のうち大冠分団の管轄区域を除く区域
		大冠	阿賀南８・９丁目、情島
		広西	広横路１～４丁目、広大広１・２丁目、広古新開１～９丁目、広文化町、広多賀谷１～３丁目
		広北	広弁天橋町、広中迫町、広三芦１・２丁目、広塩焼１・２丁目、広町田１・２丁目、広徳丸町、広石内１～４丁目
		郷原	郷原支所所管区域
	広 東	広中央	広末広１・２丁目、広本町１～３丁目、広大新開１～３丁目、広中新開１～３丁目、広吉松１・２丁目、広駅前１・２丁目、広中町、広杭本町
		広東	広名田１・２丁目、広白岳１～６丁目、広白石１～４丁目、広両谷１～３丁目
		広南	広津久茂町、広長浜１～５丁目、広小坪１・２丁目
		仁方	仁方支所所管区域
安 芸	下蒲刈	下蒲刈	下蒲刈支所所管区域
	蒲刈	蒲刈	蒲刈支所所管区域
	豊浜	豊浜	豊浜支所所管区域
	豊	豊	豊支所所管区域
安 川	川尻	川尻	川尻支所所管区域
	安	安浦三津口	三津口１～６丁目、中央１丁目（３・４番に限る。）、中央５～８丁目、中央北１丁目（９～１９番に限る。）、水尻１・２丁目
		安浦内海	中央１丁目（１・２番に限る。）、中央２～４丁目、内海南１～６丁目、中央北１丁目（１～８番に限る。）、中央北２丁目、内海北１～７丁目
		安浦野路	中切、原畑、内平及び中畑（市原及び野呂山に限る。）
	浦	安浦北	中畑のうち安浦野路分団の管轄区域を除く区域、下垣内、赤向坂及び女子畑
		安浦安登	安登東１～６丁目、安登西１～１０丁目、中央ハイツ、亀戸、日之浦及び沖ノ手
音 倉	音	瀬戸	坪井１～３丁目、引地１・２丁目、鰯浜１～３丁目
		音戸東	北隠渡１・２丁目、南隠渡１～４丁目、高須１～３丁目
		波多見	波多見１～１１丁目
	戸	音戸南	畑１～３丁目、有清１・２丁目、先奥１～３丁目、藤脇１～３丁目
		音戸西	早瀬１～３丁目、田原１～３丁目、渡子１～３丁目
	倉 橋	倉橋西	石持、オノ木、松原、上河内、小林、石原、尾曾郷、須川、西宇土及び大向
		倉橋北	重生、江ノ浦、重極、鳴滝、光ヶ瀬、小宇和木、宇和木、釣土田、長谷及び大江
		倉橋東	尾立、伊目木、納、脇田、室尾西、袋ノ内、須ノ崎、室尾東、倉井、大迫及び小尻郷
		倉橋南	海越、藤ヶ迫、唐船、鹿老渡、瀬戸、鹿島中及び宮ノ口

消 防 年 報

令和 7 年 1 0 月 発行

編集・発行 呉市消防局消防総務課
〒737-0811 広島県呉市西中央 3 丁目 1 番 9 号
TEL:0823-26-0119 (代表) FAX:0823-26-0308
HP:<https://www.city.kure.lg.jp/site/syoubou/>